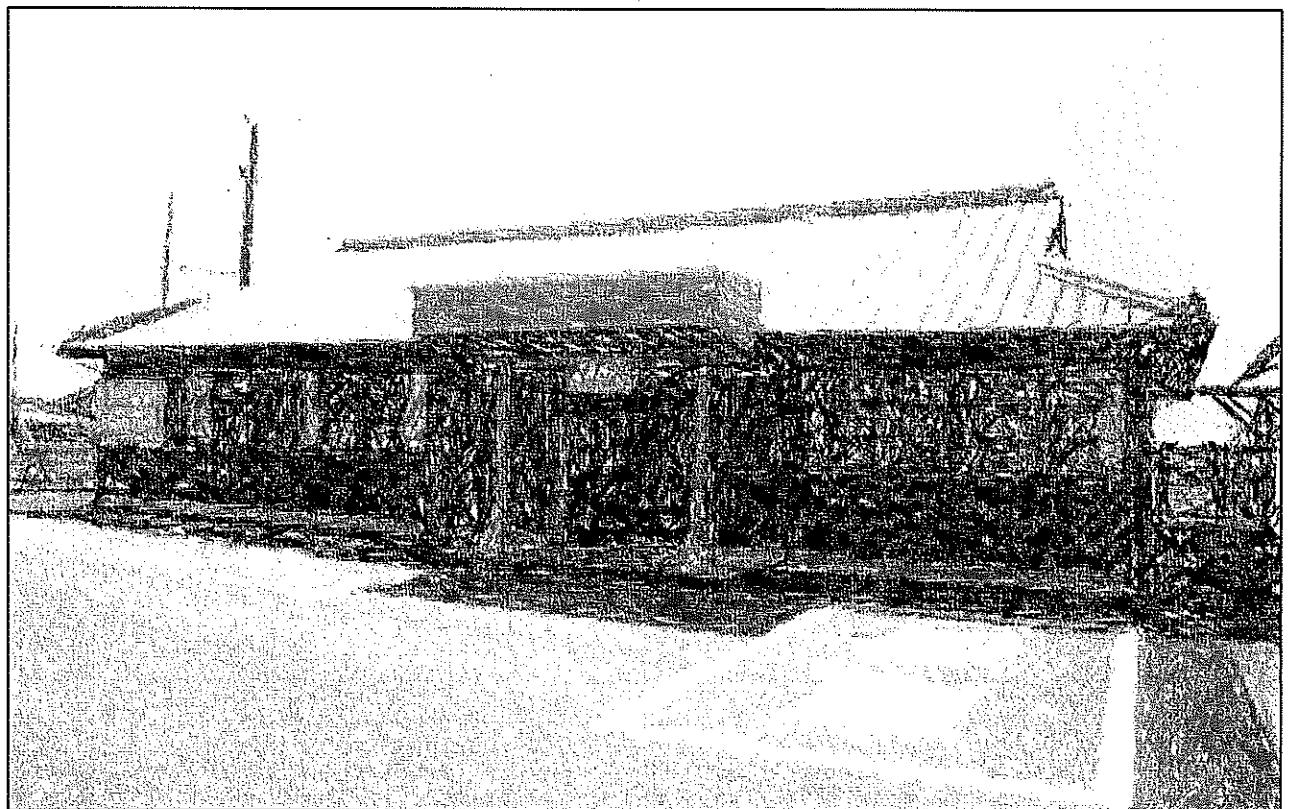


日野町くらし安心ひとづくり総合戦略 施策検証結果報告書（平成28年度）



**平成29年9月
日野町総合計画懇話会**

目 次

1.はじめに.....	1
2.検証方法.....	2
3.基本目標別検証結果.....	6
4.施策検証結果一覧.....	19
基本目標（1）まちのたからで雇用を創る.....	20
基本目標（2）出会いと発見で人の流れを作る.....	21
基本目標（3）結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる.....	23
基本目標（4）くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる... <td>25</td>	25
5.施策別検証内容（施策検証シート）.....	27
基本目標（1）まちのたからで雇用を創る.....	28
基本目標（2）出会いと発見で人の流れを作る.....	48
基本目標（3）結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる.....	70
基本目標（4）くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる... <td>100</td>	100
6.地方創生交付金事業の検証.....	128
7.検証のまとめ.....	130
1)昨年度の検証と比較して.....	131
2)量的(KP1)検証のまとめ.....	135
3)質的(取組内容)検証のまとめ.....	135
4)基本目標別のまとめ.....	136
5)まとめ.....	138
8.資料編.....	141
1)用語解説	142
2)総合計画懇話会の開催.....	144
3)総合計画懇話会委員名簿.....	144

1. はじめに

1) 総合戦略の検証の実施について

まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）に規定される市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略として、平成27年10月に策定された「日野町くらし安心ひとづくり総合戦略」（以下「総合戦略」）については、平成72（2060）年に、日野町の人口が約15,900人に減少すると推計（国立社会保障・人口問題研究所推計）されているなか、「日野町人口ビジョン」で見通している将来展望人口、18,000人台の維持と人口構造の安定をめざすため、平成27年度からの5年間の基本的な方向と施策の取り組みを定めています。この総合戦略を進めることにより、安心して暮らせるまちをつくりそのまちの魅力で交流人口および定住者人口を増やし、持続的に発展する日野町をつくることを目指しています。

のことから毎年度の事業完了後に基本目標と施策についての取り組み状況を外部有識者等の参画のもとに効果検証することにより、その検証結果を踏まえた施策の見直しや総合戦略の改訂を行うPDCAサイクルを確立し、総合戦略を着実に推進するために実施するものです。

2) 検証にあたっての着目点など

総合戦略の検証を進めるにあたって、次の着目点により検証を実施しました。

①総合戦略に掲げる「めざす姿」の実現に向けて、4つの基本目標の総合的な自己点検が実施され、事業の見直しも含めた今後の取り組みについてビジョンが明示されているか。

（めざす姿）

人と人がつながり、顔の見える関係のもと、いきいきと輝きながら活発に、地域をよくするため自分たちで考え、自分たちで行動して安心して暮らせる地域をつくり、そのもとで地域のコミュニティや文化、産業をつくれるまちとなっている。また、地域内経済循環の活性化につながる、人をはじめ自然、歴史など地域の誇りと地域資源を活かすことにより、「ひと」「まち」「しごと」のつながりの好循環により持続発展可能なまちとなっている。

②施策の取り組みについて、基本目標および基本的方向性を踏まえた取り組み状況を自己点検し、今後の取り組みについてビジョンが明示されているか。

③施策の取り組みについて、施策の内容を十分に理解したうえで取り組み状況を自己点検し、今後の取り組みについてビジョンが明示されているか。

④施策の取り組みについて、重要業績評価指標（KPI）の実績だけでは計れない、取り組み内容の質的な充実ができているか。

2. 検証方法

1) 施策の検証方法

施策の検証については、施策毎に取り組み状況等をまとめた「施策検証シート」を作成し、懇話会委員の合議性により検証を実施した。

「施策検証シート」の検証項目には、施策毎の目標値にあたる「重要業績評価指標（KPI）の達成度」だけでなく、施策の取り組み内容の質について検証を行うため、「施策の取り組み状況」、「施策の今後の取り組み」、「基本目標・基本的方向を踏まえた取り組み状況」、「基本目標・基本的方向を踏まえた今後の取り組み」を加えた5項目とした。

2) 施策の検証結果

検証結果については、30点満点とし、「施策の検証基準」に基づき、量的検証項目として重要業績評価指標（KPI）の達成度、質的検証項目として4項目の採点を行い、5項目の合計点数により5段階の検証結果とした。

【量的検証項目】・・・点数配分10点

量的な検証として、年度別的重要業績評価指標（KPI）の目標値に対する実績値の達成度を検証した。なお、重要業績評価指標（KPI）が複数設定されている施策については、平均点を点数とした。

検証による点数配分は、次のとおりである。

点数	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
KPIの達成度	100%	100%未満～90%以上	90%未満～80%以上	80%未満～70%以上	70%未満～60%以上	60%未満～50%以上	50%未満～40%以上	40%未満～30%以上	30%未満～20%以上	20%未満～10%以上	10%未満～0%以上

年度別の重要業績評価指標（KPI）に関する検証結果を次のとおり5段階とした。

KPIの検証結果	重要業績評価指標（KPI）の達成度	重要業績評価指標（KPI）の検証点数				
		10点～9点	8点～7点	6点～5点	4点～3点	2点～0点
量S	100%～90%以上	10点～9点				
量A	90%未満～70%以上		8点～7点			
量B	70%未満～50%以上			6点～5点		
量C	50%未満～30%以上				4点～3点	
量D	30%未満～0%以上					2点～0点

【質的検証項目】・・・点数配分20点

「施策の取り組み状況」、「施策の今後の取り組み」、「基本目標・基本的方向を踏まえた取り組み状況」、「基本目標・基本的方向を踏まえた今後の取り組み」の4項目について検証を行った。

検証による点数配分は、次のとおりである。

検証項目	5点	4点	3点	2点	1点
【取り組み状況】 施策の内容を踏まえた取り組みと検証ができているか	施策の内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	施策の内容を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができている	施策の内容を理解し取り組みができる	概ね施策の内容を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり施策の内容を踏まえて取り組めていない
【今後の取り組み】 今後の取り組みは、施策の内容を踏まえ、改善策等を明記しているか	施策の内容を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようとしている	施策の内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	施策の内容を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	概ね施策の内容を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが不十分	あまり施策の内容を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない
【取り組み状況】 基本目標と基本的方向を踏まえた取り組みと検証ができているか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、取り組みにより達成している	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができる	基本目標と基本的方向を理解し取り組みができる	概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的方向を踏まえて取り組めていない
【今後の取り組み】 今後の取り組みは、基本目標と基本的方向性を踏まえ、改善策等を明記しているか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようと/orしている	基本目標と基本的方向を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的方向を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない

質的検証を行った4項目の合計点数により、質的な検証結果を次のとおり5段階とした。

質的検証結果	質的検証結果の内容	質的検証を行った4項目の合計点数
質S	内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	20点～17点
質A	内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みができる	16点～13点
質B	内容を理解し、取り組みができる	12点～9点
質C	概ね内容を踏まえているが、取り組みが不十分	8点～5点
質D	あまり内容を踏まえて取り組めていない	4点～1点

【検証結果】

量的検証項目（KPI）および質的検証項目（4項目）の検証点数の合計点数により次のとおり、施策の検証結果とすることとした。

検証結果	検証結果内容	5項目の合計点数
S	目標を達成している	30点～25点
A	優れている	24点～19点
B	実施できている	18点～13点
C	工夫が必要	12点～7点
D	改善が必要	6点～1点

【施行策の検証基準】

日野町くらし安心ひとつづくり総合戦略											施策の検証基準						
30点満点		達成		優		良		発展途上		改善が必要							
数量的検証	①	KPIの達成度 ※KPIが複数の場合は、平均点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点				
		100% 100%未満～90%以上	90%未満～80%以上 80%未満～70%以上	70%未満～60%以上 60%未満～50%以上	50%未満～40%以上 40%未満～30%以上	30%未満～20%以上 20%未満～10%以上	10%未満～0%以上										
質的検証	検証観点		5点		4点		3点		2点		1点						
	②	【取り組み状況】 施策の内容を踏まえた取り組みと検証ができる いるか	施策の内容を十分に理 解し、取り組みにより達 成している	施策の内容を理解し、課 題解決と達成に向け取 り組みができている	施策の内容を理解し取 り組みができている	概ね施策の内容を踏ま えているが、取り組みが 不十分	あまり施策の内容を踏ま えて取り組んでいない										
	③	【今後の取り組み】 今後の取り組みは、施 策の内容を踏まえ、改善策 等を明記しているか	施策の内容を十分に理 解し、達成した取り組みを 維持、または更に改善 しようとしている	施策の内容を理解した 取り組みを実施し、課題 解決や達成に向けた取 り組みが明示されている	施策の内容を理解し、課 題解決や達成に向けた取 り組みが明示されてい る	概ね施策の内容を踏ま えているが、課題解決や 達成に向けた取り組みが 不十分	あまり施策の内容を踏ま えず、課題解決や達成 に向けた取り組みが示 されていない										
	④	【取り組み状況】 基本目標と基本的方向 を踏まえた取り組みと検 証ができるか	基本目標と基本的方向 を十分に理解し、取り組 みにより達成している	基本目標と基本的方向 を理解し、課題解決と達 成に向け取り組みがで きている	基本目標と基本的方向 を理解し取り組みがで きている	概ね基本目標と基本的 方向を踏まえているが、 取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的 方向を踏まえて取り組 めていない										
	⑤	【今後の取り組み】 今後の取り組みは、基本 目標と基本的方向性を 踏まえ、改善策等を明記 しているか	基本目標と基本的方向 を十分に理解し、達成し た取り組みを維持、または は更に改善しようとして いる	基本目標と基本的方向 を理解した取り組みを実 施し、課題解決や達成 に向けた取り組みが明 示されている	基本目標と基本的方向 を理解し、課題解決や達 成に向けた取り組みが明 示されている	概ね基本目標と基本的 方向を踏まえているが、 課題解決や達成に向け た取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的 方向を踏まえず、課題 解決や達成に向けた取 り組みが示されていない										
	合計検証点数																
↓																	
合計検証点数		30点～25点		24点～19点		18点～13点		12点～7点		6点～1点							
⑥検証結果		S		A		B		C		D							
		目標を達成している		優れている		実施できている		工夫が必要		改善が必要							

3) 基本目標別の検証

基本目標の検証については、めざす姿の実現に向けて、基本目標別にまとめられた取り組み状況と今後の取り組み、基本目標を構成する施策の検証結果を踏まえ、総合的に基本目標を検証し、その検証内容をコメントとしてまとめた。

4) 地方創生交付金事業の検証

地方創生交付金事業の検証については、国から外部有識者による効果検証が求められていることから、総合計画懇話会で検証を行なうこととした。効果検証については、重要業績評価指標（KPI）の達成度に加え、関連する施策の検証結果を踏まえ、事業として有効であったかを検証することとした。

3. 基本目標別検証結果

めざす姿

人と人がつながり、顔の見える関係のもと、いきいきと輝きながら活発に、地域をよくするために自分たちで考え、自分たちで行動して安心して暮らせる地域をつくり、そのもとで地域のコミュニティや文化、産業をつくるまちとなっている。また、地域内経済循環の活性化につながる、人をはじめ自然、歴史など地域の語りと地域資源を活かすことにより、「ひと」・「まち」・「しごと」のつながりの好循環により持続発展可能なまちとなっている。

No.	基本目標	内容	担当課	基本目標および基本的方向に対する		基本目標および基本的方向に対する	
				【取り組み状況】	【今後の取り組み】	【取り組み状況】	【今後の取り組み】
1	まちのたからで雇用を創る	まちの「たから」である「地域資源」を活かし、住民が主体となって取り組む創業による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。	商工観光課	<p>・創業による雇用の創出につながるよう、実践創業塾を開催しました。また、新規企業の誘致を行いました。</p> <p>・農業等地域資源を活用した農家民泊の受け入れを行いました。また、住宅リフォーム助成券を交付し住民への支援を行いました。</p> <p>・商店街と連携し、地方創生交付金を活用した特許商品事業およびポイントシステム事業へ取り組み、地域内経済循環の活性化を図りました。</p> <p>・町内企業に対して地元雇用の促進、企業間連携等についての啓発を企業懇談等の機会を通して行いました。</p>	<p>・商工会と共に創業支援塾の開講に取り組んでおり、受講者からも創業と雇用支援に向かう必要な施策の要望を聽取するなど、地域資源を活用した創業と雇用に結び付けるよう、必要な施策を検討します。</p> <p>・町内雇用の拡大のため、日野町在住の若者や町外に居住する学生等に町内企業を訪ねる機会づくりを検討します。</p> <p>・創業から経営、雇用への誘導のための施策を検討します。</p>	<p>・商工会と連携して創業塾を開催しました。また受講者が創業される際、創業扶持金を用意しています。</p> <p>・住宅リフォームに対する地域商品券の販売も実施されています。</p> <p>・元祖店等の積極的な利用により、受入効果の地域経済波及を働きかけています。</p> <p>・新たな工業団地造成による雇用の創出のため、商工会や滋賀県等と連携して地元商賈を行っています。また企業懇親会を開催し、町内企業の交流、連携の拡大を図っています。</p> <p>・氏郷まつり「染市楽座」等を開催し、商業や商店街の振興につながるよう開催場所を調整して取り組んでいます。</p> <p>・企業・事務所向け調査や企業訪問等に、雇用状況の把握や企業のニーズ等についてヒアリングを行いました。また近隣の就職説明会等を調査し、取組状況や課題の情報収集を行いました。</p> <p>・高齢者の生きがいづくりや社会参加、雇用活性につながるよう、シルバーパークセンター運営に対し支援を行いました。</p>	<p>・地域資源を活かし、地域内経済循環につなげられる創業塾の内容を再検討するとともに、起業・創業につながる支援の研究を関係機関と連携して進めます。</p> <p>・住宅リフォーム助成や由含体験事業の効果を地元商店等の地元内経済循環に結び付けるよう、引き続き意識啓発に取り組みます。</p> <p>・雇用の場やまちの活性化につながり、また地元を育てる企業の取り組こしと企業説明の取り組みを進めます。</p> <p>・地域資源を活かし、商工業や商店街の振興が図られるよう関係機関と連携して研究していきます。</p> <p>・企業が求める人材を把握するとともに、町内外の若者等の就職斡旋窓口の整備に向け研究を進めます。</p> <p>・高齢者の持つ技術や知識、経験を継承できるしくみづくりや生きがいづくりの創出について、関係機関と連携して検討を進めます。</p>
				<p>・認定農業者や集落活躍農法人等を対象に農業セミナーを主催し、農政情報等の提供等により農業高齢化を緩和する機会を設けました。また、環境こだわり米等の付加価値の高い米作りを奨励しました。</p> <p>・キャベツ栽培研修会を開催し、技術や知識の習得機会を設け、支援したことでの新たな生産者ができました。また、町内直売コーナーへの出店や町内企業への地元農業の供給もあり、少量多品目について、JJAと共に生産者に働きかけるとともにハウス設置補助を行いました。</p> <p>・日野町の新たな生産者の働きかけとして栽培研修会をしました。また、生産拡大とブランド化を目指してのJJA日野町生産者部会の設立や、新規開拓農、一般農家等の取組を支援しました。</p> <p>・JR会員有志による飲食店連携では都師捕獲したシラ、イノシシの剥いた利活用されていました。解体施設の衛生管理の向上のため、萬葉生産装置の導入を支援しました。また、日野町産のシカ肉をイベント等でPRしています。</p>	<p>・認定農業者や農業組合法人等への研修の機会を確保し、情報提供等を継続します。また、付加価値の高い環境こだわり米の作付面積が拡大するよう呼びかけを行います。</p> <p>・引き続き、野菜栽培研修会等の知識習得の機会を設けて生産の定着を図るとともに、農業生産者への付加価値等で取り組みます。</p> <p>・日野町生産者への主づくり等の支援、JJA野菜生産部会の栽培支援や阪神急進等の取組を通じて生産量の増大を図ります。また、新たにJJA農産物加工施設の設置の協議に加わり、日野町が一層の利用と雇用の創出されるよう進めます。</p> <p>・引き続き、日野町農業のPRにより認知度が高まるよう飲食店連携の取り組みを実施します。また、住民が主体となることで地元農業のPR活動ができるよう、技術・知識の習得の機会と情報提供を行います。</p> <p>・飲食店連携について、町内企業等との連携を研究します。</p>	<p>・認定農業者や農業組合法人等を対象にした農業セミナーを主催し、講師からの知識や実験、情報を得る機会を設けました。</p> <p>・付加価値の高い環境こだわり米を奨励し、生産者グループの取り組みを支援しました。</p> <p>・加工キャベツの生産者の多い交流会と環境・技術の向上のため、栽培研修会と出向説明会を開催しました。</p> <p>・ビールハウス・補助金を活用して小菊や葉物野菜の生産が行われています。グループや集落農園などの組織による日野町の生産が行われています。栽培研修会の場で、その代表者から自分達の取り組みをPRいただき、組織による生産が広がるよう働きかけました。</p> <p>・JR会員の連携して、日野町生産者による飲食店連携等で取り組みます。</p> <p>・JJA会員の連携して日野町生産者による飲食店連携等で取り組みます。</p> <p>・JR会員の連携して日野町生産者による飲食店連携等で取り組みます。</p>	<p>・農業セミナーや研修、交流会など抱いだきが持たない農業団体や集落の情報交換が図られることで、農業生産者による農業生産（創業）が育成できるよう取り組みます。また、地元野菜の地元企業による利用や直売所への出店など町内消費が広がるようJJAと連携します。</p> <p>・JJA会員の連携して日野町生産者による飲食店連携等で取り組みます。</p> <p>・JR会員の連携して日野町生産者による飲食店連携等で取り組みます。</p>
2	出会いと発見で人の流れを作る	まちの「たから」を活かし、観光などで「人と人」の出会いの機会をつくり、日野の魅力を伝えことで交流から移住・定住に結び付く、魅力あるまちをめざします。	商工観光課	<p>・観光ボランティアガイドによる魅力的な情報発信に向けて、県主催の研修会や日野観光ボランティアガイド協会単独の研修会参加による育成が図されました。</p> <p>・日野ひまわり祭りや秋萩散策アートなど、日野町の良さを活かした地域主導の取り組みへの参画と情報発信に取り組みました。</p> <p>・一社一日野観光交流ネットワークと連携し、町外住民の紹介として移住定住に向けて空き家見学ツアーを実施するなどの取り組みを進めました。</p> <p>・音楽祭観光交流会等の基本活動として地域おこし協力隊を委嘱し、日野ひまわり祭りアート等を企画実施することで、交流・移住・定住に向けて日野町の魅力を発信しました。</p>	<p>・日野観光協会、日野観光ボランティアガイド協会との連携により、日野のまちなかへ観光客を誘導するための定期観光事業を検討しています。</p> <p>・田舎旅館の取組みを通じて、都市に住む子どもたちに日野町の情報を発信するとともに、今後も継続して、次代を担うう豊かな子どもたちの健全な育成に取り組んでいます。</p>	<p>・日野観光協会、日野観光ボランティアガイド協会との連携により、日野のまちなかへ観光客を誘導するための定期観光事業を検討しています。</p> <p>・田舎旅館の取組みを通じて、都市に住む子どもたちに日野町の情報を発信するとともに、今後も継続して、次代を担うう豊かな子どもたちの健全な育成に取り組んでいます。</p>	<p>・観光、歴史資源を活かした農村生活体験や研修、インバウンドの導入・基盤等の整備を図ることにより、多様な交流（交流人口の拡大）を図ります。</p> <p>・大学・企業等でのニーズを把握し、近江日野町の魅力や日野の魅力の情報発信に取り組みます。</p> <p>・観光協会や観光ボランティアガイド協会との連携により、地元創生事業を活用して日野のまちなかへの定期観光事業に取り組み、交流人口拡大を図ります。また会員の確立、育成に努め、幅広い見渡しの取組に取り組んでいます。</p> <p>・多様な交流により、「日野に生まれて良かった、住んで良かった」と思える地域への愛着を芽生えさせることも、定住を後押しする施策と情報発信を関係機関と連携し、取り組んでいます。</p>
				<p>・農村の原風景としての棚田という資源を、ボランティア参加の方と共に棚田保全活動に取組みました。野原地区の住民の方の手作りの意図によりあたかもか交流が生まれ、棚田の価値以上の交流となっています。</p>	<p>・ボランティア参加者を通じて、新たな交流が生まれるよう、呼びかけをするとともに、滋賀県とともに更にPRに取組んでいます。</p>	<p>・住民自身による棚田保全の取組と、棚田に隣接のある方々の意欲を結びつけ、棚田地帯の活性化と交流が図られました。また、新たに企業からのボランティア参加者もあり、新たな交流が図られました。</p>	<p>・姉妹都市である恩山面との招請・派遣事業に取り組み、交流を深めることにより、日野の「たから」である日野の魅力を伝え、国境を越えた「人と人」とのつながりを深めることができます。</p> <p>・ホームページや郵便メール、SNSを活用し、情報を発信することにより、日野の「たから」の魅力を伝えるため取り組みました。</p> <p>・多様な交流で日野町を訪れた人に、まちの「たから」である自然・歴史・人つながりを魅力としたパンフレットを作成し、観光や田舎旅館等の交流で日野町を訪れた人に配して、移住・定住に結び付くよう、日野の魅力の情報発信を行いました。</p> <p>・多様な交流で日野町を訪れた人に、まちの「たから」である自然・歴史・人つながりを魅力としたパンフレットを作成し、移住希望者に対しても魅力をアピールするとともに、地元自治会役員等と懇談を行い、よりスムーズな移住を後押しする支援を行いました。</p>

めざす姿

人と人がつながり、顔の見える関係のもと、いきいきと輝きながら活発に、地域をよくするため自分たちで考え、自分たちで行動して安心して暮らせる地域をつくり、そのもとで地域のコミュニティや文化、産業をつくれるまちとなっている。また、地域内経済循環の活性化につながる、人をはじめ自然、歴史など地域の誇りと地域資源を活かすことにより、「ひと」・「まち」・「しごと」のつながりの好循環により持続発展可能なまちとなっている。

No	基本目標	内容	担当課	基本目標および基本的方向に対する		基本目標および基本的方向に対する	
				【取り組み状況】	【今後の取り組み】	【取り組み状況】	【今後の取り組み】
3	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまでの、その時々のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館では、地域で暮らす人々が「だから」と捉え、年齢や性別等にこだわることなく誰もが自由に学べる機会の提供に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習欲求が満たされ、自己や地域が抱える課題等が解消することが、日々の生活の充実感となり、町や地域への愛着を強めることにつながるよう、公民館での学びをさらに工夫します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日野商工会、ふるさと館、歓迎館の三館連携により日野の魅力を町内外に発信し、伝統料理の食体験などにより地域住民と来訪者の交流に努めました。「ひるまと日野の歴史」を活用したふるさと学習の推進により、生まれ育った町を良く知り愛着を持たせるよう取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館では地域の歴史学習や探訪ウォーキングなどを実施することにより、自らが生活する地域の歴史や文化を学び、地域のだからの発掘に取り組みました。 ・スポーツに関しては、年齢や性別などにかかわらずすべての市民が様々な場所、機会に恵んで気軽に参加することを通して、心身ともに健全で幸せな生活がおれる町をめざした取組みをしました。
			企画振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのつながりを深める中での切れ目のない支援として、結婚に及びつくように、町主体の結婚事業だけでなく、地域住民が主体となった結婚事業を支援しました。また、子育てでは、交流できる場所を通じて、地域でのつながりが深められるような場所の検討を行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域住民が主体となった結婚事業をするとともに、取り組みの拡大にむがる支援を図ります。また、女性ができる場所づくりについてでは、一気に合ったものとなるように、住民が中心になって企画、検討されるよう工夫することでも、その場所を通じて形成されるコミュニケーションによる子育て負担の軽減につながる可能性を探討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚から子育てまでのその頃々の二二に合う支援を、地域のつながりの中でできよう。地域での意識改革に取り組むと共に、具体的として、結婚イベントや交流できる場の創設に向けての協議を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体となって地域でのつながりを深める中での結婚事業の取組みを支援すると共に、結婚から子育てまでのその特徴ニーズにあった切れ目のない支援として、具体的にどのようなことが考えられるかを関係部局と連携をすることで形にしていく、調整をさせていく必要があります。
			福祉保健課	<ul style="list-style-type: none"> ・出産前からお母さんお父さん教室等を実施し、交流会により孤立を防いでいます。また、来院中の教室は、米穀指導に預理実習を取り入れ、出産に向けての支援に取り組みました。 ・児童交流施設を開設し、子育て世代の悩みを受け付けています。また、ボランティア団体による交流機会を通じて保護者と地域とのつながりも生まれています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年6月にファミリーサポートセンターを開設しましたが、子育てを発揮することを通して地域の人材資源の発掘と仕事の循環につなげたいと考えています。また、父親の育児参加を促す取り組みを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出産前からお母さんお父さん教室等を実施し、交流により孤立を防いでいます。また、米穀指導に預理実習を取り入れ、出産に向けての支援に取り組みました。父親の参加を促す内容に変更しました。・乳幼児健診時（4ヶ月・10ヶ月）で熟乳育指導に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠相談・新生児訪問・赤ちゃん広場等の機会を通じて相談支援を進めます。
			子ども支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・児童交流施設等を開設し子育て世代の悩みを受け付けています。また、ボランティア団体による交流機会を通じて保護者と地域とのつながりも生まれています。 ・子育てに必要な知識の向上と子育て世代の交流の場として地域で子育てをする団体が組織した連絡協議会で講演会等を行いました。 ・子育てガイドマップを作成し子育てに必要な情報を毎年、更新して発信しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年7月にファミリーサポートセンターを開設しましたが、子育てを発揮することを通して地域の人材資源の発掘と仕事の循環につなげたいと考えています。また、父親の育児参加を促す取り組みを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童交流施設等を開設し子育て世代の悩みを受け付けています。また、ボランティア団体による交流機会を通じて保護者と地域とのつながりも生まれています。 ・子育てに必要な知識の向上と子育て世代の交流の場として地域で子育てをする団体が組織した連絡協議会で講演会等を行いました。 ・子育てガイドマップを作成し子育てに必要な情報を毎年、更新して発信しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンターの充実を図り、子育てを応援することを通じて地域の人材資源の発掘と仕事の循環につなげたいと考えています。また、父親の育児参加を促す取り組みを進めます。 ・子育てに必要な知識の向上と子育て世代の交流の場として地域で子育てをする団体が組織した連絡協議会で講演会等を行いました。 ・この子も安心して医療を受けられるよう医療実験制度への加入とあわせて、福祉医療制度の周知を図っています。また、負担金を貯めているうえでは、現物給付を受けられるよう適正に受給券を交付するよう手続きを取り組んでいます。
			住民課	<ul style="list-style-type: none"> ・どの子も安心して医療を受けられるよう、福祉医療制度の対象者拡大（小学6年生まで）を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年10月からさらに対象者の拡大（中学3年生まで）を行い、子育てにかかる負担の軽減に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年10月から対象範囲を中学3年生まで拡大しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この子も安心して医療を受けられるよう医療実験制度への加入とあわせて、福祉医療制度の周知を図っています。また、負担金を貯めているうえでは、現物給付を受けられるよう適正に受給券を交付するよう手続きを取り組んでいます。
			図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から中学生までの子どもたちに対し、それぞれの発達段階に合わせた読書活動の推進を行いました。 ・幼稚園、保育所、小・中学校の担当教諭やおはなしボランティアと連携し、绘本の読み聞かせ等の取り組みを進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園の乳幼児とその保護者への取り組みを強め、読み聞かせにより親子の絆づくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子、あるいは祖父母との心のあいを深めるわらべうた講座を南北部在幼稚園で開催しました。 ・子育て支援ボランティアと連携して、図書館来館時で乳幼児を預かる託児サービスをスタートさせました。また、乳幼児向けの绘本を充実させました。 ・子どもたちにはなしを届けるボランティアの養成講座を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの豊かな成長に関わる多くの市民とともに、妊娠期から乳幼児期、児童、生徒へ成長していく子どもたちとの保護者のために切れ目のない資質育成と支援を実めます。 ・託児サービスの内容など充実させ、移動図書館サービスを保育所、教育や学童、さらに図書館への来館に因たる高齢層へのサービスの実現に向けて準備を始めます。
			商工観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・企業への実習調査や訪問調査を行なう中で、働きやすい職場環境の推進を行うとともに、福利厚生の認定状況や様々な休暇制度などの状況把握に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境の推進、ワークライフバランスの促進について、引き抜きセミナーの配布や専門講師による講演等で啓発していきます。 ・子育て支援や育児休業についてでは、支援のメニューや制度の説明、啓発等を踏まえ、今後検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・事業所訪問調査および企業訪問等を行なう中で、育児休業の取得や様々な福利厚生等の環境認定等に努めました。また、多様な働き方の普及のため、人権研修会等でイクボスについて講演を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業の取得およびワーク・ライフ・バランス等を促進するため、企業懇談会や企業訪問、労働講座、人権研修会等を通じて、継続した啓発と情報発信に取り組み、企業の意識改革・体制づくりを働きかけています。 ・保育や子育てサービスの拡充も必要であることから、具体的な支援について関係機関等と連携して研究を進めます。
			学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課等と連携しながら、要保護児童虐待対策協議会のしくみの中で、学校や園と子どもたちの日々からの状況や変化の様子を共有し、子どもたちが安心で安定した生活と学習できる環境づくりを考え、取り組みを進めました。 ・就学援助制度の給付についても、学校との連携により、子どもたちの状況を把握するとともに、福祉課とも情報共有し、子どもたちが安心で安定した生活と学習できる環境づくりに努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課等と連携しながら、要保護児童虐待対策協議会のしくみの中で、学校や園と子どもたちの日々からの状況や変化の様子を共有し、子どもたちが安心で安定した生活と学習できる環境づくりを考え、引き続き取り組みを進めます。 ・子どもを取り巻く家庭環境の変化により、子どもが安心して学校・園生活を送ることが困難にならないように、学校・園を中心とした就学援助制度の周知を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援課や各寺等と連携しながら、要保護児童虐待対策協議会のしくみの中で、子どもたちが安全に安心して毎日の学校・園生活を送れるよう取組みを進めました。特に注意や支援が必要な子どもについては、要保護児童虐待対策協議会のしくみの中での関係機関が連携して対応を進めました。 ・子どもを取り巻く家庭環境の変化により、子どもが安心して学校・園生活を送ることが困難にならないように、学校・園を中心とした就学援助制度の周知を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援課や各寺等と連携しながら、要保護児童虐待対策協議会のしくみの中で、子どもたちが安全に安心して毎日の学校・園生活を送れるよう取組みを進めます。 ・就学援助制度の給付についても、引き続き学校と連携し子どもたちの状況を把握すると同時に、福祉課とも情報共有し、子どもたちが安心で安定した生活と学習できる環境づくりに努めるとともに、必要な方に制度の周知を進めます。

めざす姿

人と人がつながり、顔の見える関係のもと、いきいきと輝きながら活発に、地域をよくするために自分たちで考え、自分たちで行動して安心して暮らせる地域をつくり、そのもとで地域のコミュニティや文化、産業をつくるまちとなっている。また、地域内経済循環の活性化につながる、人をはじめ自然、歴史など地域の語りと地域資源を活かすことにより、「ひと」・「まち」・「しごと」のつながりの好循環により持続発展可能なまちとなっている。

No.	基本目標	内容	担当課	基本目標および基本的方向に対する		基本目標および基本的方向に対する	
				【取り組み状況】	【今後の取り組み】	【取り組み状況】	【今後の取り組み】
	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる						
4	家庭でのきずなはもとより、地域の人と人のつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもとで安全で安心して住み続けられるまちをめざします。また、地域の力を活かした課題解決能力を高めることで、住民の活発な自治活動を持続発展させ、これまでの自治活動の見直しも含め、地域課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。	企画振興課	・地域での人とのつながりを育むため、出前講座等を通じて、若者男女の参加によるまちづくり計画の策定に関する啓発と文部省を取り組むことにより、住民自らがくらしやすい地域づくりを考え、実践していくことにつなげる取り組みを進めました。 ・安全で安心して住み続けられるまちにつながる、人と人のつながりのもとで、日野町の地元コミュニティに相応しいコミュニティビジネスについて検討するとともに、町営バスの動態調査等により利用者ニーズの把握に努めました。	・地域での人とのつながりを更に頑張め、出前講座等を通じて、若者男女の参加によるまちづくり計画の策定に関する啓発と文部省を取り組むことにより、住民自らが抱いた地元づくりを考へ、実践していくことにつなげる取り組みを進めました。 ・地域で安心して住み続けられるまちにつながる、人と人のつながりのもとで、日野町の地元コミュニティに相応しいコミュニティビジネスについて検討するとともに、町営バスの動態調査等により利用者ニーズの把握に努めました。	・話が見えるつながりの中で、きずなを育み「おたがいさしま」の助け合いができるため、地域課題を把握し自らが学び取り組んでいくことに対しての信頼提供を充実していきます。 ・また、安全で安心して住み続けられるまちを実現するため、コミュニティビジネスの創出に向けてその仕組みづくりについて検討し、公共交通についても、その整備にかかる課題等を公表していくと共に、公共交通の重要性についてアピールしていきます。	・住民自らの暮らしやすい地元づくりのため、地域課題を把握し自らが学び取り組んでいくことに対しての信頼提供を充実していきます。 ・また、安全で安心して住み続けられるまちを実現するため、コミュニケーションビジネスの創出に向けてその仕組みづくりについて検討し、公共交通についても、その整備にかかる課題等を公表していくと共に、公共交通の重要性についてアピールしていきます。	
		生涯学習課	・福祉会を中心に地域のニーズにあった幅広い活動が集落単位で展開され、お互いが助け合う活動が展開されています。 ・地域の中に障害者のグループホームが出来ることで新たな交流が生まれています。 ・乳幼児健診の受診率は90%以上を維持し、全数健診に努めました。 ・障害児支援の充実のために、保健所訪問事業に向けた具体的な検討を進めました。	・地域の中では障害者を受け入れる施設や団体などの連携、有益な情報の収集、能力的な事業の企画など、地域住民が集まる多くの地域住民が集まり、きずなを深めることができます。 ・「地域の力」の実現に向けて、乳幼児健診の丁寧な聞き取りに努めます。 ・介護支援の必要な状況の実態分析を行い、保健所などへの訪問事業の取り組みを進めます。	・民生委員児童委員、福祉協力員、地区社会福祉協議会、字福社会とともに、講演や交流等の活動を通じて地域での支援活動を支援しています。 ・障害の有無に係わらず、生きづらさを感じている人たちの生活や就労に対する支援を行いました。 ・乳幼児健診の受診率の全数健診に努めました。 ・平成29年度の実施に向けた保健所訪問事業のモデル事業を実施しました。	・地域課題等に対する共通理解を深めるとともに、ボランティアを含む支援者間の結束から、地域住民の繋がりを深めています。 ・障害等に対する理解促進に努め、ボランティアを含む支援者確保に努めます。 ・保健所訪問支援事業の29年度実施に向けて体制整備を行います。 ・各課題に従事者を通じて、相談業務を強化します。	
		図書館	・公民館では、地域固有の特性を生かしながら多様な活動に取組み、実行委員会が中心となりた運動会や文化祭、納涼祭等は多くの地域住民が集まり、きずなを深めることができます。 ・また、総合体育館では青年教育や公民学習を中心としたしながら、世代間や地域内の新たな交流もできます。	・異なる地域や団体などとの連携、有益な情報の収集、能力的な事業の企画など、地域住民が集まる多くの地域住民が集まり、きずなを深めることができます。 ・「よくある質問」についてはホームページなどに質問と回答例などを掲載し、来館しなくても回答がわかるようにします。	・各公民館では世代を超えてさまざまな人びとが集まる活動を実施されています。 ・地域にある優れた人材を有効活用すると共に、住民の生きがいづくりの一助になりました。	・学校や公民館を模した学習やさまざまな活動を通して、子どもたちの成長につながります。 ・地域住民の知識と知恵で地域の教育力を高める取り組みを進めます。また、研修会での知識の伝承を広めることにより、互助の精神を高めて住みよいまちづくりをめざします。 ・学習会などを「学べ懇親会をするために」の要なる活動をすすめ、地域が抱える問題を見出し、その解決方法について意見交換し合う活動を企画振興課と連携して推進します。	
		長寿福祉課	・61歳と66歳の間に対し、おたっしゃサポート・養成講習会の案内を郵送し、養成講習会を実施するとともに、修了者に対し地域で自主的に活動できるようスキルアップセミナーを開催しました。 ・既に設置されているおたっしゃサポート・養成講習会においては、事務局（社団）任せではなく、派遣依頼に対する手配等を自分たちで行ってもらおう、現体制を構築しました。 ・住民が自主的に身近な居場所を設けることができるよう高齢者交流サロン推進支援モデル事業を実施しました。	・どんな疑問でも気軽に図書員に相談できるように、明るく開かれた図書館サービスの実現に努めています。 ・利用者がどんな疑問があるか、図書全体で対応しています。 ・疑問を解決するための本を購入して用意したり、県内の図書館から借用するなどして用意しています。	・図書館のフロアで必要な本を探している利用者に声かけなし、該当の書架への案内をしています。また、どんな本がどこにあるかの書架案内図を用意しています。 ・必要ないかない場合は購入したり、県立図書館などから借用して用意しています。 ・利用者から寄せられた問い合わせや、新聞記事など日々の記事をデータベース化するために準備を始めています。	・高齢者交流サロンについては、サロン運営者による交流会を行ない意見交換と情報共有を取り組みました。また、サロンの補助金制度の周知と対象要件の緩和を図り、平成28年度からは新たに2地区の取り組みがはじまりました（平成28年度末開設2地区）。 ・地域での交流会活動を推進するため、おたっしゃ教室や読み聞かせゲーム教室のリーダー養成・活動の普及への取り組みを行いました（社会福祉協議会への委託事業）。 ・地元での交流会を開催するため、生活性援コーディネーターを社会福祉協議会に配置し、サロン活動をはじめとする地域における交流会活動の運営の把握、整理を行いました。 ・地域における生活性援のニーズ、資源等の把握を行ない、高齢者の生活支援に関するアンケートを実施しました。	・高齢者交流サロンについては、引き続き、サロンの取り組みを広げるとともに、補助金制度のさらなる緩和についても研究します。 ・地域では、福祉会サロン、おたっしゃ教室、高齢者交流サロン、読み聞かせゲーム教室などの様々な活動が展開されています。これららの活動の継続（支え合い活動の継続）を図るために、社会福祉協議会にも協賛して取り組みを進めます。 ・地域における支え合いを推進するため、東桜谷地区、西桜谷地区をモデル地区として、社会福祉協議会とともに、地域における支え合いの運営を進めます。また、その他の地区においても、協賛を図り、協賛者や支え合いに取り組みます。 ・「高齢者の生活支援に関するアンケート」をはじめとしたデータの分析を行い、活用を図ります。
		住民課	・日野めぐる防犯交通安全情報の発信を行いました。 ・各地区自動的犯罰法による防犯パトロールを実施しました。 ・地域安全活動推進大会の開催しました。 ・交通安全シルバーキャラバン隊による街頭啓発を行いました。 ・警務、交通安全協会と協同で街頭啓発を実施しました。 ・保育所、幼稚園での交通安全教室を実施しました。	・今後も各地区自主防犯団体・シルバーキャラバン隊などと連携を図り、地域ぐるみでの各種啓発活動など拡大を図ります。	【交通】 ・老人クラブ連合会よりシルバーキャラバン隊として53名に活動いただきました。地域の安全のため通いする子どもの見守り活動や、交通事故を減らすため交通安全セミナーを実施してきました。 ・絶続して活動していただくために、自主的に防犯団体に防犯活動に対する助成金を交付しました。また、自主防犯団体・警察と連携して防犯啓発活動を実施しました。	【交通】 ・交通事故が少なくなり住みよい街になるよう、交通事故発生状況や危険箇所等の情報を提供して、見守り活動や交通安全対策を実施します。 ・警務と連携して交通安全教室を実施し、防犯活動だけでなく学習の場を設け交通安全に対する考え方や知識の向上を進めます。	
		総務課	・消防団の重要性・必要性を、地元自治会・企業等への啓発に努めました。 ・防災の推進リーダーとなる防災士として、5名の方に資格を取得していただきました。 ・町と町の防災士による自主防災組織設立に関する相談支援等、細かい助言に努めました。	・引き続き、団員定数185名を確保できるよう、活動を通じて消防団の重要性・必要性の啓発に努め、消防団への理解を深めてもらいつながら、公助としての役割を果たしました。 ・系統的に防災士の資格を取得していただき、町の防災士育成事業を推進し、出前講座で自主防災組織の重要性と必要性に対する理解を深め災害初動時ににおける地域での自助、共助を促進します。	・条例定数である185名の団員を確保することができました。 ・日野町防災士会議会を立ち上げ、本格的に活動を始動し、町の出前講座や日野町総合防災訓練に参加いただきました。 ・新たに5名の方に防災士の資格を取得いただきました。消防士会議会に加入いただきました。	【防犯】 ・消防団の資格取得者を計画的に育成し、町の防災士の受け皿になります。 ・出前講座において、防災士と共に自主防災組織等の重要性と必要性に対する理解を深め、地域防災力の向上を目指します。	

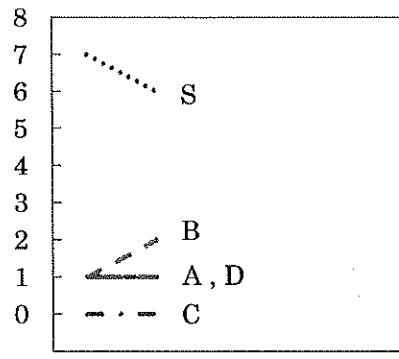
基本目標別量的（ＫＰＩ）検証結果

平成27～31年度

No.	基本目標	年度	検証結果						
			達成度 100%～90%以上	達成度 90%未満～70%以上	達成度 70%未満～50%以上	達成度 50%未満～30%以上	達成度 30%未満～0%以上		
			量S	量A	量B	量C	量D	合計	
1	まちのたからで雇用を創る	H27	7	1	1	0	1	10	
		H28	6	1	2	0	1	10	
		H29							
		H30							
		H31							
2	出会いと発見で人の流れを作る	H27	8	0	2	0	1	11	
		H28	9	0	0	1	1	11	
		H29							
		H30							
		H31							
3	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	H27	11	1	0	0	3	15	
		H28	11	1	1	1	1	15	
		H29							
		H30							
		H31							
4	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	H27	11	0	0	0	3	14	
		H28	12	0	0	0	2	14	
		H29							
		H30							
		H31							
総合計		H27	37	2	3	0	8	50	
		H28	38	2	3	2	5	50	
		H29							
		H30							
		H31							

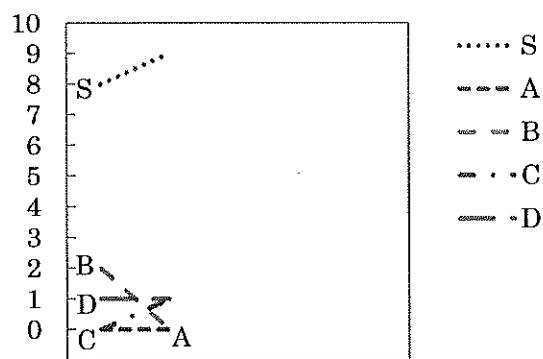
基本目標別量的（KPI）検証結果

1. まちのたからで雇用を創る



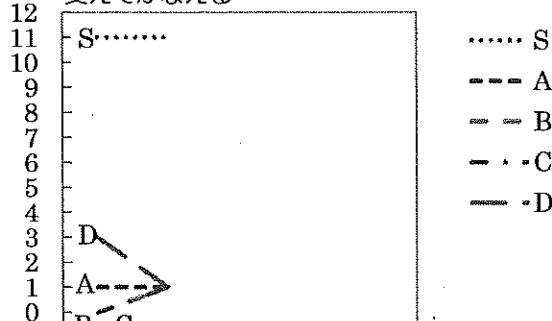
H27 H28 H29 H30 H31

2. 出会いと発見で人の流れを作る



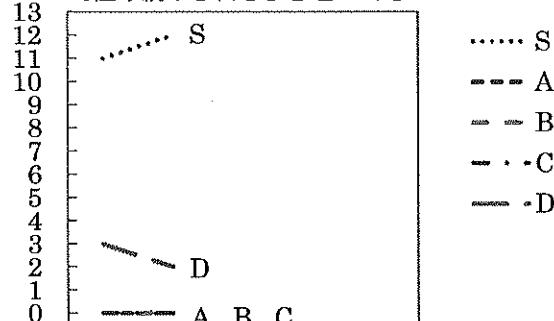
H27 H28 H29 H30 H31

3. 結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる



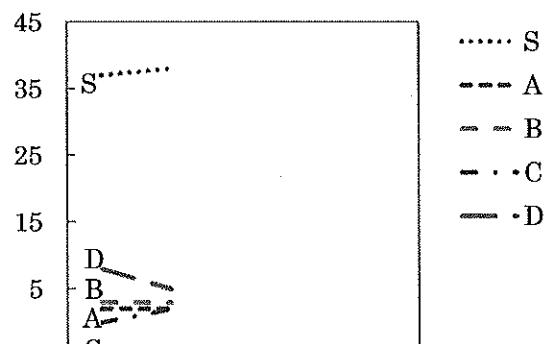
H27 H28 H29 H30 H31

4. くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる



H27 H28 H29 H30 H31

全施策



H27 H28 H29 H30 H31

全施策の量的（KPI）検証結果では、量S（達成度100%～90%）が昨年度より1施策増えて38施策で最も多く、次いで、量D（達成度30%未満～0%以上）が5施策という結果になっています。

基本目標別の量的（KPI）検証結果でも、4つの基本目標とも量S（達成度100%～90%）が最も多くなっています。

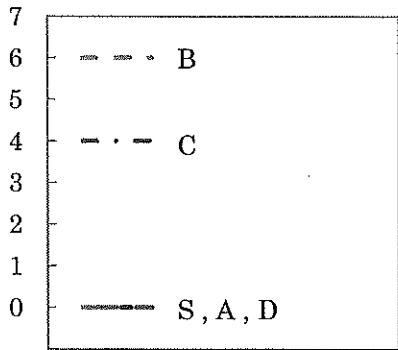
基本目標別質的（取組内容）検証結果

平成27～31年度

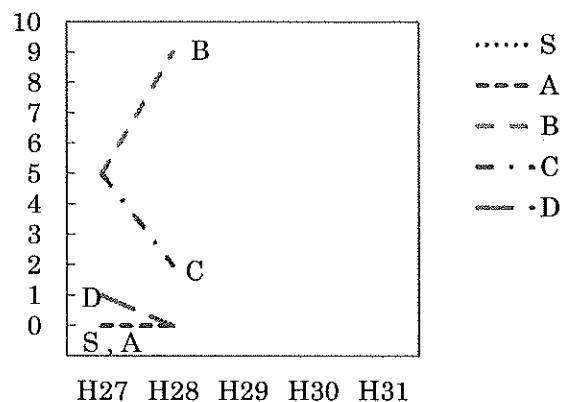
No.	基本目標	年度	検証結果						
			内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みができる	内容を理解し、取り組みができる	概ね内容を踏まえていいるが、取り組みが不十分	あまり内容を踏まえて取り組めていない		
			質S	質A	質B	質C	質D	合計	
1	まちのたからで雇用を創る	H27	0	0	6	4	0	10	
		H28	0	0	6	4	0	10	
		H29							
		H30							
		H31							
2	出会いと発見で人の流れを作る	H27	0	0	5	5	1	11	
		H28	0	0	9	2	0	11	
		H29							
		H30							
		H31							
3	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	H27	0	0	8	7	0	15	
		H28	0	0	8	7	0	15	
		H29							
		H30							
		H31							
4	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	H27	0	0	11	2	1	14	
		H28	0	0	6	8	0	14	
		H29							
		H30							
		H31							
総合計		H27	0	0	30	18	2	50	
		H28	0	0	29	21	0	50	
		H29							
		H30							
		H31							

基本目標別質的（取組内容）検証結果

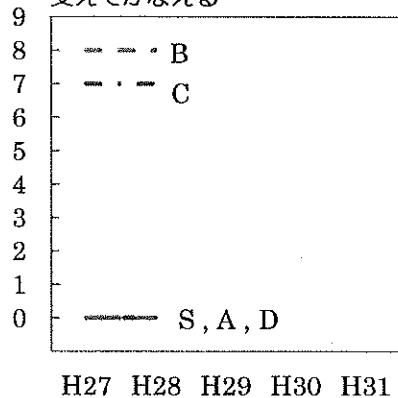
1. まちのたからで雇用を創る



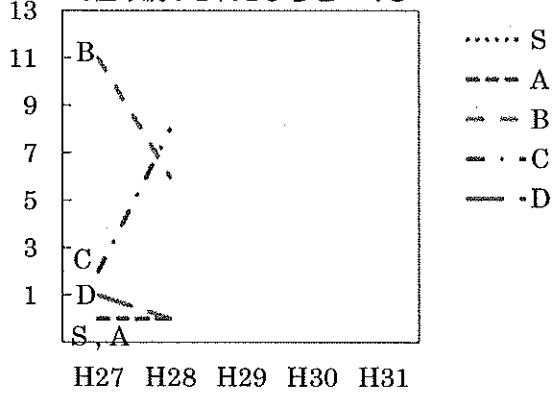
2. 出会いと発見で人の流れを作る



3. 結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる

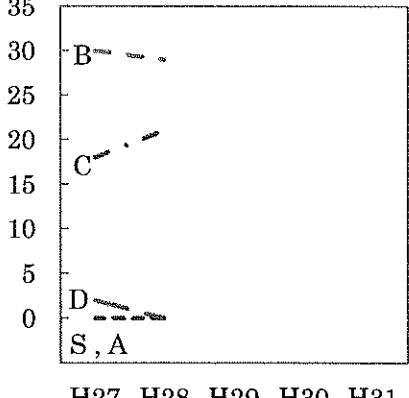


4. くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる



H27 H28 H29 H30 H31

全施策



H27 H28 H29 H30 H31

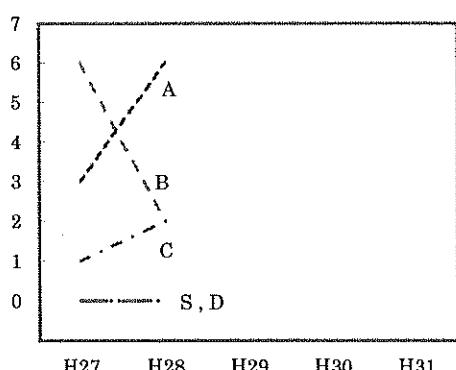
全施策の質的（取組内容）検証結果では、質B（内容を理解し、取り組みできている）が29施策と最も多く、次いで、質C（概ね内容を踏まえているが、取り組みが不十分）が21施策という結果になっています。

基本目標別の質的（取組内容）検証結果をみると、基本目標「まちのたからで雇用を創る」、「出会いと発見で人の流れを作る」、「結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる」で、質B（内容を理解し、取り組みできている）が最も多くなっています。また、基本目標「くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる」では、質C（概ね内容を踏まえているが、取り組みが不十分）が質B（内容を理解し、取り組みできている）を上回り、昨年と逆転する結果となりました。

基本目標別検証結果

基本目標 (1)	まちのたからで雇用を創る
まちの「にから」である「地域資源」を活かし、住民が主体となって取り組む創業による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。	

重要業績評価指標 (KPI)									
指標名		基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	H31	
1 創業件数		0 件	目標	3 件（累計）	6 件（累計）	9 件（累計）	12 件（累計）	15 件（累計）	
			実績	1 件（累計）	1 件（累計）				
			達成率	33.3%	16.7%				
2 町内企業への新規学卒就職者の町内在住者比率		21.2 %	目標	21.2 %	23.0 %	26.0 %	28.0 %	30.0 %	
			実績	26.7 %	18.7 %				
			達成率	125.9%	81.3%				
講すべき施策に関する基本的方向		○「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持った人がつながる機会をつくり、創業と雇用に結びつけます。 ○農業などを通じて「地域資源」を発見し、付加価値を生み出すことでブランド化、さらなる有効活用を生み出すことで雇用を創ります。 ○地元企業、商工会と連携を図り情報を発信することで、町内雇用の拡大を図ります。							
施策の検証結果状況		年度	目的を達成している S	優れている A	実施できている B	工夫が必要 C	改善が必要 D	合計	
		H27	O	3	6	1	O	10	
		H28	O	6	2	2	O	10	
		H29							
		H30							
		H31							



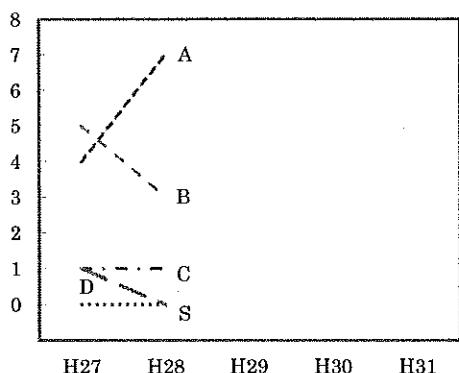
基本項目「まちのたからで雇用を創る」を構成する施策の検証結果は、A（優れている）平成27年度は3施策でしたが、平成28年度は6施策と最も多くなっています。
 次に、B（実施できている）とC（工夫が必要）が2施策ずつとなっています。

基本目標に対するコメント	○住民主体の経済循環に努め、企業誘致と町内異業種間の交流を進めてください。 ○農林課と商工観光課が連携して、地域資源をコンスタントに流通させる地域内経済循環の取り組みにしていくください。 ○町のキャリアセンターの役割を立上げ、若者等の町内企業への就職を促進するため、どのようにアピールし進めしていくのか、早急に検討してください。
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本目標別検証結果

基本目標 (2)	出会い系と発見で人の流れを作る
まちの「だから」を活かし、観光などで「人と人」の出会い系の機会をつくり、日野の魅力を伝えることで交流から移住・定住に結び付く、魅力あるまちをめざします。	

指標名		基準値 (H26) 625,667 人 (H24-H26)	重要業績評価指標 (KPI)					
1	観光入込客数 (年間) 過去3年平均		目標 628,000 人 (H25-H27)	H27 629,500 人 (H26-H28)	H28 631,000 人 (H27-H29)	H29 633,000 人 (H28-H30)	H30 635,000 人 (H29-H31)	
2	転入者数 (住民基本台帳) 過去3年平均	678 人 (H24-H26)	目標 680 人 (H25-H27)	690 人 (H26-H28)	700 人 (H27-H29)	715 人 (H28-H30)	730 人 (H29-H31)	
3	転出者数 (住民基本台帳) 過去3年平均	806 人 (H24-H26)	目標 800 人 (H25-H27)	780 人 (H26-H28)	760 人 (H27-H29)	730 人 (H28-H30)	710 人 (H29-H31)	
講すべき施策に関する基本的方向		○まちの「だから」である観光資源・田舎体験等の多様な交流を通じ、まちの魅力と住民の誇りを醸成することで、観光客や町外の住人が日野町に関心を持ち、住民との交流によりさらに関心が深まり、将来の移住につながるような情報発信や事業の拡充を図ります。 ○住民に日野町の良さを伝えることで、日野町に生まれてよかった、住んで良かったと思える地域への愛着を芽生えさせ、育っていくことにより定住を促進します。 ○移住希望者の視点に立ち、日野町での暮らしをイメージでき、移住を後押しできるような情報発信と支援の充実を図ります。 ○遊休地や空き地等が、移住と定住につながるよう利活用と情報発信を図ります。						
施策の検証結果状況		年度	目的を達成している S	優れている A	実施できている B	工夫が必要 C	改善が必要 D	合計
		H27	O	4	5	1	1	11
		H28	O	7	3	1	0	11
		H29						
		H30						
		H31						



… S
-- A
- B
- C
--- D

基本項目「出会い系と発見で人の流れを作る」を構成する施策の検証結果は、A (優れている) が7施策と最も多くなっています。
 次に、B (実施できている) が3施策、C (工夫が必要) が1施策の順になっています。

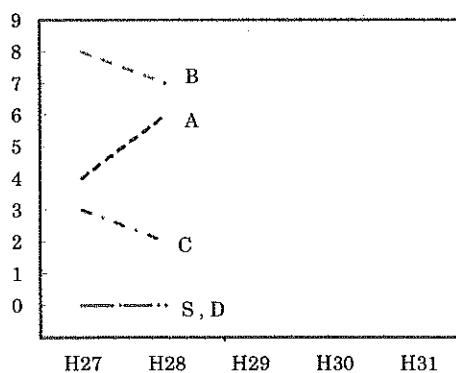
基本目標に対するコメント	○各課それぞれの取り組みを総動員して、町の跡継ぎを育てる定住施策を具体的に考えてください。
--------------	-----------------------------------------------

基本目標別検証結果

基本目標 (3)	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる
地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。	

重要実績評価指標 (KPI)							
指標名	基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	H31
1 出生数（住民基本台帳）過去3年平均	180 人 (H24-H26)	目標	179 人 (H25-H27)	178 人 (H26-H28)	177 人 (H27-H29)	176 人 (H28-H30)	175 人 (H29-H31)
		実績	174 人 (H25-H27)	174 人 (H26-H28)			
		達成率	97.2%	97.8%			
2 合計特殊出生率	1.59 (H26独自推計)	目標	1.59	1.60	1.60	1.61	1.62
		実績	1.44 独自推計				
		達成率	90.6%				
講すべき施策に関する基本的方向		○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。 ○出産に向けての負担の軽減により支援の充実を図ります。 ○子育てサポーター等、現状のサービスの充実や子育てに係る負担の軽減などを通じて、子ども・子育て支援の充実を図ります。 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。					

年度	目的を達成している	優れている	実施できている	工夫が必要	改善が必要	合計
	S	A	B	C	D	
H27	O	4	8	3	O	15
H28	O	6	7	2	O	15
H29						
H30						
H31						



... S
 -- A
 - B
 - C
 — D

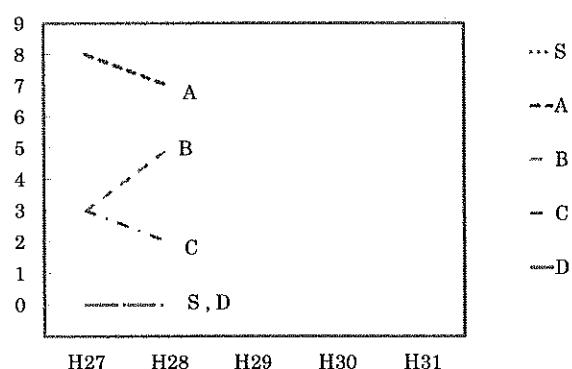
基本項目「結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる」を構成する施策の検証結果は、B（実施できている）が7施策と最も多くなっています。
 次に、A（優れている）が6施策、C（工夫が必要）が2施策の順になっています。

基本目標に対するコメント	○地域のつながりを深める中で、子育てサポートを受けた人が、後にサポートをする側になっていくようなサイクルを作り、交流の中で住民ニーズを充足し合い、地域の中で切れ目のない支援ができる仕組みづくりに努めてください。
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本目標別検証結果

基本目標 (4)	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる
家庭でのきずなはもとより、地域の人と人のつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもとで安全で安心して住み続けられるまちをめざします。また、地域の力を活かした課題解決能力を高めることで、住民の活発な自治活動を持続発展させ、これまでの自治活動の見直しも含め、地域課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。	

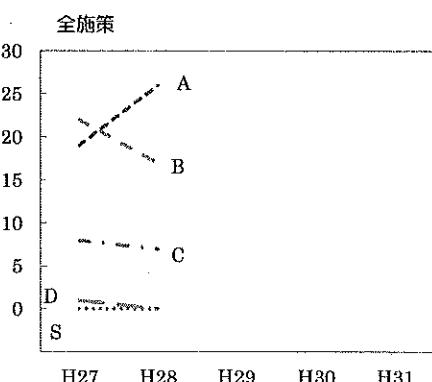
重要実績評価指標 (KPI)							
指標名	基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	H31
人と人（複数の地域コミュニティ）をつなぐ場の創出	〇ヶ所	目標	〇ヶ所	5ヶ所	10ヶ所	15ヶ所	20ヶ所
		実績	2ヶ所	5ヶ所			
		達成率	100.0%	100.0%			
講すべき施策に関する基本的方向		〇地域の人と人のつながり（きずな）を育むため、地域の多様なコミュニティが連携する住民主体の活動を支援します。 〇人と場所と機会をつなぐ、人材・資源を発掘します。 〇住民主体の出会いの場づくりにより、地域に暮らす人同士の「おたがいさま」の助け合い、自分の「自慢」を持ち寄り、生きがい持てる仕組みをつくります。 〇顔の見えるつながりの中で、「困りごとを出し合い、支えあう」など、地域のコミュニティ活動を支援します。 〇自治活動を基盤に、地域福祉活動の推進、子育て・介護・防犯・防災などの取り組みにより、安心・安全なまちづくりを推進します。					
施策の検証結果状況	年度	目的を達成している S	優れている A	実施できている B	工夫が必要 C	改善が必要 D	合計
	H27	〇	8	3	3	〇	14
	H28	〇	7	5	2	〇	14
	H29						
	H30						
	H31						



基本項目「くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる」を構成する施策の検証結果は、A（優れている）が平成27年度より1施策減りましたが、7施策と最も多くなっています。
次に、B（実施できている）が5施策、C（工夫が必要）が2施策となっています。

基本目標に対するコメント	〇これからの地域のあり方を住民自らが見出し、それぞれの地域で核となる人材の発掘と、きっちりでなくとも時々関わる、関わり続けることを受け入れるというような、暮らしやすい風土を作していく気風を醸成してください。 〇家庭はもとより地域の人ととのつながりの中で、小さい時からの考え方、かかわり方、コミュニケーション、仲間の作り方等その全てが、地元に愛着を深めることに大きく影響します。それぞれの施策でこの視点を持ってください。
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

No.	基本目標	内容	検証結果						検証委員からのコメント			
			S	A	B	C	D	合計				
1	まちのだからで雇用を創る	まちの「だから」である「地域資源」を活かし、住民が主体となって取り組む創業による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。	H27	0	3	6	1	0	10	○住民主体の経済循環に努め、企業誘致と町内異業種間の交流を進めてください。 ○農林課と商工観光課が連携して、地域資源をコンサルタントに流通させる地域内経済循環の取り組みについてください。 ○町のキャリアセンターの役割を上げ、若者等の町内企業への就職を促進するため、どのようにアピールし進めていくのか、早急に検討してください。		
			H28	0	6	2	2	0	10			
			H29									
			H30									
			H31									
2	出会いと発見で人の流れを作る	まちの「だから」を活かし、観光などで「人と人」の出会いの機会をつくり、日野の魅力を伝えることで交流から移住・定住に結び付く、魅力あるまちをめざします。	H27	0	4	5	1	1	11	○各課それぞれの取り組みを総動員して、町の跡継ぎを育てる定住施策を具体的に考えてください。		
			H28	0	7	3	1	0	11			
			H29									
			H30									
			H31									
3	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。	H27	0	4	8	3	0	15	○地域のつながりを深める中で、子育てサポートを受けた人が、後にサポートをする側になっていくようなサイクルを作り、交流の中で住民ニーズを充足し合い、地域の中で切れ目のない支援ができる仕組みづくりに努めてください。		
			H28	0	6	7	2	0	15			
			H29									
			H30									
			H31									
4	暮らしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	家庭でのきずなはもとより、地域での人と人のつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自ら暮らしやすい地域をつくり、そのもとで安全で安心して住み続けられるまちをめざします。また、地域の力を活かした課題解決能力を高めることで、住民の活発な自治活動を持続発展させ、これまでの自治活動の見直しも含め、地域課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。	H27	0	8	3	3	0	14	○これから地域のあり方を住民自らが見出し、それぞれの地域で核となる人材の発掘と、きっちりでなくとも時々関わる、関わり続けることを受け入れるというような、暮らしやすい風土を作っていく気風を醸成してください。 ○家庭はもとより地域での人ととのつながりの中で、小さい時からの考え方、かかわり方、コミュニケーション、仲間の作り方等その全てが、地元に愛着を深めることに大きく影響します。それぞれの施策でこの視点を持ってください。		
			H28	0	7	5	2	0	14			
			H29									
			H30									
			H31									
総合 計			H27	0	19	22	8	1	50			
			H28	0	26	17	7	0	50			
			H29									
			H30									
			H31									



..... S
--- A
-- B
- - - C
- . - D
S

総合戦略の全施策の検証結果では、A（優れている）がH27年度実績では19施策であったのに対し、H28年度実績では26施策と大きく増加し、最も多くなっています。
次に、B（実施できている）が17施策、C（工夫が必要）が7施策の順になっています。

4. 施策検証結果一覧

基本目標施策No	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数
			①KPI	②施策取り組み状況	③施策今後の取り組み	④基本目標等取り組み状況	⑤基本目標等今後の取り組み	
			量的検証	質的検証				
まちのたからで雇用を創る	1 創業・第2創業の促進	・起業ができるまでの支援をしていくという施策であることが必要です。 ・地域内経済循環につながる起業となるような支援が求められています。創業塾の中身も再検討する時期にきているのかもしれません。	6	2	2	2	2	14
	2 地域内経済循環の推進	・昨年にひきつづき、基本目標と基本的方向を踏まえて施策に取り組んでください。 ・町並みや町の景観を保全するリフォームの支援に配慮し、地域資源の積極活用と住民が主体となる地域内経済循環の促進に取り組んでください。	10	3	4	2	2	21
			量S	質B				A
	3 企業誘致と企業・異業種間の交流促進	・あらゆる視点が企業誘致につながる可能性があります。地元を育てる企業となるよう発想の転換をもって誘致活動に取り組んでください。 ・実施できていないことがチャンスです。戦略性をもって進めるよう努めてください。	5	2	2	2	1	12
			量B	質C				C
	4 魅力ある商店づくりの促進	・地域資源を活かす、住民が主体という視点が不足しています。外部の意見も受け入れ、地元商店の活性化とレベルアップが求められています。 ・情報発信は、地域おこし協力隊だけではなく町でも取り組んでください。 ・協力隊は、将来的に日野町に居ついてもらうよう、世帯としての年収となるような取り組みが必要です。 ・日野の特産品にコスト意識をもつこと、その関係の企業誘致も考えてみてください。	9	3	3	2	2	19
			量S	質B				A
	5 農業経営体の育成	・日野に合った新規就農者イメージをもち、後継者そのものが育つような取り組みを進めてください。 ・豊富な経験、技術、知識を持った人がつながる機会をつくり、創業と雇用につなげることが必要となっています。	10	3	3	2	2	20
			量S	質B				A
	6 地元野菜生産者の担い手育成	・昨年に引き続き、住民が主体となる創業につながるように、小規模農家の育成に取り組んでください。 ・生産表示についての研修会の開催等、商品化に向けて具体的な技術指導と共に、意識啓発を図りレベルを高いところに求めたい。	9	4	3	2	2	20
			量S	質B				A
	7 日野菜のブランド化の促進	・原産日野菜がまちの「たから」であることと、その価値（ブランド力）の認知度を高めるための情報発信を拡大した上で、原種の配布により一層力をいれてください。 ・日野菜の活用販路を広げる取り組みを、町内飲食業や企業との連携により一層進めてください。 ・新たな生産者の開拓に力を入れてください。	8	3	3	3	3	20
			量A	質B				A
	8 獣肉の利活用を促進	・集落捕獲の野生獣の肉の品質保持や加工を検討してみてください。 ・あらゆる商品化も視野にいれ、更なる販路の拡大を検討してください。 ・缶詰をはじめ、加工品のPRに力を入れてください。	10	3	3	3	2	21
			量S	質B				A
	9 若者等の就職相談窓口の整備	・地元企業の応援は、地元でしかできません。地元企業の魅力、おもしろいこと、大切なことの情報発信に努め、地元でやってみたいという若者をしっかりと出していかれるよう努めてください。 ・若者等と地元企業が出会えるように、商工会と連携して、「就職を支援する総合的な相談窓口」を早急に開いてください。	0	2	2	2	2	8
			量D	質C				C
	10 高齢者の生きがい創出	・シルバー人材センター以外でも生きがい創出が必要です。高齢者の自主的活動を広く紹介する取り組みを検討してください。 ・食や農業を通じて、高齢者の生きがいの充実と社会参加を進めてください。	10	2	2	2	2	18
			量S	質C				B

基本目標	施策No.	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数
				①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
				量的検証	質的検証				
出会いと発見で人の流れを作る	1	体験型観光の推進	・棚田ボランティアをはじめとして、交流人口拡大のため、農業体験等にも取り組み、町の関わりを広げていくことを検討してください。 ・農業体験から移住・定住へつながるよう、跡継ぎをこの町で育てるという視点をもち、基本的方向性を踏まえて事業に取り組んでください。	10	4	3	2	2	21
	2	観光受入体制の整備	・日野のまちなかへの観光事業の更なる充実により、観光客等と住民との交流人口が増加し将来の移住につながるような情報発信に努めてください。 ・日野町に生まれてよかった、住んでよかったと思える地域への愛着を芽生えさせ、定住を促進する事業の取り組みを関係課との連携の中で検討してください。	量S	質B				A
	3	日野の「たから」情報発信の推進	・求められている情報が何かを今一度見直し、日野のだからの再認識も含め、ホームページ等での情報発信に努めてください。 ・日野大当番仲間のとりくみには、どういう目標があるのかを再確認し、移住者も含め仲間づくりから始めてください。	9	2	3	1	2	17
	4	日野の「たから」の伝承促進	・三館連携と交流人口の拡大から、移住・定住にどのようにつなげるのか、具体的な施策を検討してください。 ・食文化はもとより日野の文化の継承として日野の「たから」の魅力を伝える施策を更に推進してください。	量S	質C				B
	5	伝統文化等後継者育成の促進	・様々な世代の連携した地域づくりへの支援はまだ弱いと思われます。定住・移住につなげる観点を念頭に、施策を充実させてください。 ・郷土への愛着、人材育成に結びつく施策を意識してください。	4	2	3	2	2	13
	6	生涯学習の機会の充実	・日野の魅力を伝えるということだけに力点をおくのではなく、日野の良さを伝え広げるために直す必要があるところもあることを意識して施策を進めてください。 ・移住定住に結びつける方向での取り組みはありません。学びと経験 地域への愛着の視点から移住・定住に繋がる施策を検討してください。 ・高齢者の技術・知識を直接次世代に伝えるような取り組み等を学校で展開するなど、生涯学習から各方面にエンパワーメントし、エンパワーが循環する取り組みも検討してください。	量S	質B				A
	7	定住支援相談窓口の整備	・移住者をどう日野町民にしていくかが問われます。移住者を受け入れる土壤づくりを引き続き地域に広げてください。 ・日野町民に対して、日野町に愛着を芽生えさせ、育てていくため、地元住民に対しての日野の良さをアピールする機会をあらゆる形で作ってください。	10	3	3	2	2	20
	8	空き家を活用した定住促進	・空き家施策を他の施策をどう関連付けていくのかという視点をもって取り組みを進めてください。 ・空き地に付随する農地の取得について、検討を進めてください。	量S	質B				A
	9	空き地等を活用した定住促進	・田舎体験が移住につながる、具体的なビジョンを持ってください。 ・地域に愛着を持つ住民の定住に結び付くような制度構築に努めてください。	10	3	3	3	3	22
				量D	質B				C

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数
				①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
				量的検証	質的検証				
出会いと発見で人の流れを作る	10	多文化共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・観光関連のボランティアの方との連携を図り、通訳可能な方など地元出身者の人材発掘も視野に入れ、取組みを進めてください。 ・外国人の住民のための生活情報の発信と多文化共生への支援を施策にしていくことが求められています。 ・国際交流の事業体系から、多文化共生事業の方向へシフトしていくよう努めてください。 	10	3	3	2	2	20
	11	スポーツによる交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのスポーツ広場が開催されて久しいですが、始まった当初にあった最終目標を改めて確認し、実現するべきところを目指してやっていくことが必要です。 ・基本的方向性を踏まえて考えると、移住を後押しできるようなスポーツイベントとなっているかという視点が必要です。課題を再設定することが必要です。 	10	3	2	2	2	19

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数
				①KPI	②施策取り組み状況	③施策今後の取り組み	④基本目標等取り組み状況	⑤基本目標等今後の取り組み	
				量的検証	質的検証				
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	1	出会いの場の創出	・日野町で結婚することのメリットが婚活をしている人に確実に届くよう、全面的にアピールしてください。	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B
	2	産み育てやすい環境の充実	・妊娠期から確実に把握し、もれのないフォローができるように努めてください。特に初産の方への対応は確実にしてください。 ・地域の人や先輩お母さんとつながれるしくみ作りを整え、役所（保健師という窗口）が関わるとごとの住み分けをしてください。	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A
	3	乳幼児健診における保健指導の充実	・もれのない妊産婦の把握に努め、その後もタイミングを逃さないサポートの充実に努めてください。 ・地域の子育て力を高め、つながりの中で子育てができる環境の充実に努めてください。 ・保健師がプロの仕事ができるように環境を整えてください。	9	2	2	2	2	17
				量S	質C				B
	4	保育所の整備	・保育所ニーズが高まる中、地域で保育所も支えるという視点に立てるよう働きかけを検討してください。 ・義父母や地域はうつとおしがられるもの。その段階を超えての関係ができるよう仕掛けを考えてみてください。	10	3	3	3	3	22
				量S	質B				A
	5	子育て期間中の保護者の交流促進	・昨年と変わらず取り組みを続けているのはわかりますが、昨年の課題にあるところを今年はどう工夫したのかというところを書いてください。 ・妊娠、出産、保育と切れ目のないサポートについては、特にリスクのないグループは地域等横のつながりを作ることで一定役割を果たしてもらい、ハイリスクグループには行政の専門性で対応するという役割分担的な視点を持ってください。	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B
	6	子育て支援員の確保	・子育て支援員の資格が取れることを、町内全体に周知して、子育て支援員（子育ての知識をもつ人）を増やすことを考えてください。 ・おじいちゃんやおばあちゃんも支援員になってもらって、地域のつながりを深められる雰囲気になるよう努めてください。	7	2	2	2	2	15
				量A	質C				B
	7	ファミリーサポートセンターの整備	・登録会員数を地域の中で増やしていく取り組みとして、サービスを受けた先輩が支援者になっていくというサイクル構築を意識してください。 ・福祉サービスに住民が参加して、そこから一緒に作っていくという視点が必要です。サービスの受け手に成り下がらせてはいけません。	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B
	8	交流できる場の充実	・再度ニーズの把握に努め、集い交流することで地域のつながりが深まり、切れ目のない支援となる仕組みづくりに努めてください。	0	2	2	2	2	8
				量D	質C				C
	9	福祉医療制度の実施	・基本目標や基本的方向性を踏まえて、他の施策と連携をはかり切れ目の無い支援となるよう、福祉医療制度として何が考えられるのか一度検討してみてください。	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数
				①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
				量的検証	質的検証				
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	10	障がい児の支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子どもへの支援を保護者が利用しやすいことが最大の課題です。どのようにしくみを作るのか検討してください。 ・子どもの障がいを認めたくないという親にどう向き合うかが課題です。役所が直接だけではなく周りが動いて保護者に働きかけをするなど作戦が必要です。 ・ハンディキャップをもっているのがいっしょにやつていけること（統合教育）が大切である。そのことにより、障がいへの理解が深まり切れ目のない子育て支援につながります。 	10 量S	3	3	2	2	20 A
	11	子どもの読書活動推進	<ul style="list-style-type: none"> ・関係課と連携し、移動図書館サービスも含め、地域全体で読書に親しむ環境をつくる施策の推進をしてください。 ・妊娠中の夫婦、学童保育所、療育への取組みを検討してください。 	9 量S	3	2	3	3	20 A
	12	働きやすい職場環境の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・働く人にとってどうなのかという視点で、具体的に行政ができることと企業での働き方を見直す取り組みをすすめてください。 ・農林商工自営業者について、関係機関と連携をした取り組みをすすめてください。 	9 量S	2	2	1	1	15 B
	13	学童保育所の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員、支援員そして保護者も一緒にあって、町外への観察研修等を行った上で意見を交換し、外の良いところを取り入れることが必要です。 ・今のヘビーユーザーを将来の支援者につなげる仕組み作りという視点で取り組みを進めてください。 	10 量S	3	3	2	2	20 A
	14	児童・生徒の自主的学習支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からみて、その時のニーズにあつた切れ目の無い支援となるよう、ターゲットを絞らず全ての子どもを対象にした事業を考えてみてください。 ・保護者をはじめ、地域の人の中に、自分の子ども以外（地域の子ども）の学力を上げることに関心を持ってもらうきっかけとして、ボランティア講師をやってもらうなどという発想を持ち、住民側の力量を發揮、引き出すことを視野に入れてください。 ・基本目標と基本的方向性をみると、施策が不十分です。施策自体を考え直す時にきていますので、検討してください。 	5 量B	3	3	2	2	15 B
	15	奨学金制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金制度について、他部局とも連携し、隈なく情報が提供できるように努めてください。 ・大学卒業後に日野町に定住をする学生には、貸与ではなく給付の奨学金の制度を作ることを検討してください。 ・他府県の事例も参考に、県と連携した新しい制度の構想をもつべきです。 	3 量C	3	2	2	2	12 C

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数
				①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
				量的検証	質的検証				
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	1	進取のまちの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・団塊世代が会社でのノウハウを自治会運営にとりいれてくれるとか、若い人が地域づくりに参加できるようにするなど、これまでとアプローチを変えていく時がきています。 ・町内会運営は、みんなでやるものという意識付けが必要です。向き不向きではなく、みんなでやることこそが求められています。 	10	2	2	2	2	18
	2	地域福祉活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・本来の目的を達成することをやっているのか、今一度見直す時期にきています。 ・福祉会は高齢者だけでなく、お年よりも子どもも参加者を主人公に変えていく視点が必要です。 ・子どもの頃から30年後のグループを作り、楽しくするために地域で取り組んでいく組織作りが必要です。そういうつもりで、若いときから育てていく視点をもってください。 ・目の前にことに気を取られすぎず、基本的方向性にある「地域に暮らす人同士の「おたがいさま」の助け合い、自分の「自慢」を持ち寄り、生きがいを持てる仕組みをつくる」を咀嚼(そしゃく)して考え、仕事に結び付けてください。 	9	3	3	1	1	17
	3	ボランティア団体の組織化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味のグループを団体にするなど、団体育成の視点を持ってください。 ・日常的にお客さんだった人たちに、受けたよりやったほうが面白いという意識改革が必要です。 	10	2	2	1	1	16
	4	コミュニティビジネスの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治の力を高められる元となる、コミュニティビジネスの創出に向け、継続的に意識を高めていくための取組みが必要です。 	0	2	2	2	2	8
	5	異分野・多世代交流の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・大人側が、子ども達を地域の主役にしていくようなかかわりをするという発想が必要です。 ・文化祭や運動会に高校生や中学生をボランティアに募るというのも良い取組みと思われます。 ・行政がする支援には、当事者が自分たちでできるようにしていくという視点が必要です。 	10	3	2	3	2	20
	6	学びの機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で今やっていることが社会的にどのような意味があるのか、地域の課題解決にどう結びつくのかを改めて考え方直すことが求められています。検討してください。 ・地域の趣味の集まりを公民館活動に巻き込んでいく取組みなども有効だと思います。考えてみて下さい。 ・人権問題は自分の生存権にかかわることだと気づかせるものでないと意味がない。その気づきに導くアプローチを考えてください。 ・これまでの自治会活動の見直しをやらないといけない時期にきています。字の話合いの中で自由な話し合いができるよう、今の縦社会のあり方から見直してください。 	9	3	3	3	2	20
	7	農林業を活かした中間就労の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり等も含め、中間就労の場を必要とするニーズの把握に努めてください。 ・人と人とのつながり(きずな)、地域の多様なコミュニティが連携する住民主体の活動を支援しながら中間就労につなげる仕組みづくりに努めてください。 	0	3	3	1	1	8

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数
				①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
				量的検証	質的検証				
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	8	障がい者の就労促進	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人、ひきこもりの人たちが社会の助けを借りていいという意識改革が必要です。 ・ひとりひとりがイキイキと暮らしていくように、地域や家族と当人が話して解決していく雰囲気づくりに努めてください。 	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A
	9	障がい福祉サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法も施行されました法律で禁止するだけでなく、地域でそれを乗り越えていく環境をつくりに努めることが求められています。 ・子育ての段階から地域とかかわってもらうことで社会に受け継がれていくので、学校教育にも受け入れてもらえるように福祉からもアクションを起こし、横のつながりも大切にしていく視点が必要です。 	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A
	10	介護予防の促進・高齢者の自主的な活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者の活躍の場として地域で役割を持って支えあう場の創出（サロン）を月1回程度からはじめ、地域から自発的に作っていく必要があります。 ・サロンの対象者を高齢者のものに限らず、子どもも家族でも、もちろん障がいのある人も含めて参加できるようにして、開催日は平日も対象にし、元気高齢者や趣味を持つ人の、生きる力・技術・技を披露してもらう場として、人同士がつながる視点を持ってください。 	9	3	3	2	3	20
				量S	質B				A
	11	犯罪・事故のないまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的方向を踏まえ、助成金や資材を出すことでの支援という形から、それぞれの地域で自分たちで活動をやっていけるようになるための支援となるように、支援の形を再考してください。 ・高齢化に伴い住民主体の活動が困難になってくることに備え、次の担い手を確保する仕組みづくりを考えしてください。 	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A
	12	消防団活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・団員を確保するだけが目的にならないようにし、自治活動のひとつとして、地域課題解決に向けての活動となるよう努めてください。 ・入ってからのハードルが高すぎるのを考えものです。消防団を理由に転出するといつようなことがないよう、施策を見直すことを検討してください。 	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				A
	13	自主防災組織の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の防災意識を高めるという視点を持ち、施策を検討してください。 ・町内会に組織されていない人たちにもアプローチしていくという発想が必要です。 	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B
	14	公共交通の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通への理解を高め、住民自身がその必要性を再認識できるようなきっかけ作りに努めてください。 	9	2	2	2	2	17
				量S	質C				B

5. 施策別検証内容（施策検証シート）

施 策 檢 証 シ ャ ト

まちの「だから」である「地域資源」を活かしながら生産が主体となって取り組む事業による地域内経済循環の活性化と、販売の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。

基本目標	まちのだからで雇用を創る
基本的方針	○「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持つた人がつながる機会をつくり、創業と雇用に結びつけます。 ○農業など、「地域資源」を発見し、付加価値を生み出すことで、「地域資源」を活用します。 ○地元企業、商工会と連携を図り情報発信することで、町内雇用の拡大をめざします。

施策内容	・ワンストップ窓口を設置し、商工会と連携のともども起業塾等の研修を実施します。 ・コミュニケーション・ビジネスなど、起業ができるよう支援します。
------	-----------------------------------------------------------------------------

指標名	創業塾等の受講者数 (H26) 担当部署 商工課 受講 自体	①重要業績評価指標 (KPI)			内部検証 ◎検証 実績	外部検証 ◎検証 コメント
		取り組み状況	今後の取り組み			
施策内容	1 高齢 創業・第2創業の促進	商工会と連携し、実践創業塾等の研修を実施しました。創業希望者との相談が件数あり、起業についての支援を行いました。	引き続き商工会と連携し、実践創業塾等の研修を実施に取り組むとともに、創業希望者に合った講師内講評を活用して、地域内経済循環を意識した取り組みを進めます。	③	【基本目標、基本的方向を踏まえて】 ・実践創業塾等を運営するための組織の整備につけて、「地域資源」を駆け出さない方向性に、地元の仕組みづくりが必要です。 【今後の課題】 ・地元企業、商工会との連携した情報発信を行いうため、地元企業に連携する仕組みづくりが必要です。 ⑤	B
施策内容	20 人(※) H27 20 人(※) 1000%	実施していること ・創業による雇用の創出につながりました。 ・「実践創業塾等を運営するための組織の整備につけて、「地域資源」を駆け出さない方向性に、地元の仕組みづくりが必要です。 ・「地域資源」について、実践創業塾等での内容の活性化について、実践創業塾等の取り扱いなどを検討します。 ・実施が困難なこと ・地元資源のブランド化については、関係団体等との連携が必要です。 ④ 【基本的方 向を踏ま えての状 況】	実施していること ・「地域資源」を駆け出さない方向性に、地元の仕組みづくりが必要です。 ・「地域資源」について、実践創業塾等での内容の活性化について、実践創業塾等の取り扱いなどを検討します。 ・実施が困難なこと ・地元資源のブランド化については、関係団体等との連携が必要です。 ④ 【基本的方 向を踏ま えての状 況】	④	【基本目標、基本的方向を踏まえて】 ・創業による雇用の創出につながりました。 ・「実践創業塾等を運営するための組織の整備につけて、「地域資源」を駆け出さない方向性に、地元の仕組みづくりが必要です。 【今後の課題】 ・地元企業、商工会との連携した情報発信を行いうため、地元企業に連携する仕組みづくりが必要です。 ⑤	A

(KPI)の見直し内容		指標名		指標名		指標名		
指標名	見直し理由	見直しに理由	見直しに理由	見直しに理由	見直しに理由	見直しに理由	見直しに理由	
年度	前	後	年度	前	後	年度	前	後
H28			H28			H28		
H29			H29			H29		
H30			H30			H30		
H31			H31			H31		

卷之三

上一回検証シス策

「お前が主なことをやつたら、おまえの手で『地獄の火』をもぎ落としてやる。」
「おまえの手で落す?」
「おまえの手で落す!」
「おまえの手で落す!」

施設名	概要	地域内経済循環の推進
基本目標	<p>まちのだからで雇用を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域資源」を活用し、豊富な経験・技術・知識を持つた人がつながる懇親会をつくり、創業者と雇用に繋びつけます。 ○「地域資源」などを通じて「地域資源」を発見し、付加価値を生み出すことでのブランド化。さらなる有効活用を生み出すことで雇用を創ります。 ○企業などと連携を図り情報発信を拡大を図ります。 <p>基本的方向</p>	<p>・（一社）近江日野交流ネットワークによる繋ぐ生活体験と民泊の受入により、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>・まちぐるみで支援する中小企業等を繋ぐことで地域内経済循環を推進します。</p>

① 地域実情部活用標準 (CP1)		内告検証		外部検証	
② 生モリフォーム助成による経済波及効果		【取り組み状況】		【今後の取り組み】	
名簿名 里親団 H-26	民泊受入人数 3,789 人	【取り組み状況】		【今後の取り組み】	
担当部署 商工観光部 里親課	担当部署 商工観光部 里親課	① 施設	② 施設	③ 施設	④ 施設
概要 生モリフォーム助成による経済波及効果	概要 生モリフォーム助成による経済波及効果	裏親民泊の受け入れを充実させ、質の高い 体験を交換し、地域住民生活の支援と経済 活性化を図りました。	裏親民泊の受け入れを充実させ、質の高い 体験を交換し、地域住民生活の支援と経済 活性化を図りました。	継続した裏親民泊の受け入れと住宅リ フォーム制度の充実に努めます。	継続した裏親民泊の受け入れと住宅リ フォーム制度の充実に努めます。
⑤検証 結果	⑥検証 結果	・基本目標どおりの方向を 踏まえて施策に取り組んで ください。 ・住民が生 じる地域内経済環 境促進を図ってください。	・基本目標どおりの方向を 踏まえて施策に取り組んで ください。 ・住民が生 じる地域内経済環 境促進を図ってください。	B	
⑦検証 結果	⑧検証 結果	『今後の課題』 ・離島民泊では、受け入れ家庭の豊富な経 験や知識を持った人のつながりを活用して に努められます。生モリフォーム制度の一 層の活用と、商工業者の雇用拡大に努めま す。	『今後の課題』 ・離島民泊では、受け入れ家庭の豊富な経 験や知識を持った人のつながりを活用して に努められます。生モリフォーム制度の一 層の活用と、商工業者の雇用拡大に努めま す。		
⑨検証 結果	⑩検証 結果	基本目標ど おりの状況 であります。	基本目標ど おりの状況 であります。		

①重要な評価指標（KPI）

指標名	内部検証		外部検証								
	①受入人数	②組み状況	③検証結果	コメント							
生毛リフォーム助成による経済効果	3,789人	321,000千円	321,000千円	・昨年にひきつづき、基本目標に取り組んで下さい。町並みや町の整備を保全する、地政課などは、地主が主体となる組織で経営ください。							
基準値 (H26) 担当部署 商工課 基準 自体 実績 達成率 基準 実績 達成率 基準 実績 達成率	3,850人	3,884人	100.9%	355,000千円	348,000千円	104.2%	A	・農村生活体験等の体験型動かすを図って、受入本制の整備や組織等の意願なども、都市農村交流などとともに、受入れ居民に周知していくこと。 ・住宅リフォームに対して商品券で助成し、地域内経済循環の推進を図りました。 ③	・農村生活体験等の体験型動かすを図って、受入本制の整備や組織等の意願などを広く市民に周知していくこと。 ・家庭の取り組みミニユースの研究を進めます。住宅リフォーム内経済循環修復に向けた助成を行い、引き続き地域内経済循環形成を対象とする要件等の見直しについて検討を進みます。 ④	・農村生活体験等の取り組みを実践していきます。住宅リフォームに対する効果を最大化するため、農村生活体験などとともに、質の高い体験を実践していきます。 ・住宅リフォームに付随する商品券で助成し、地域内経済循環の推進を図りました。 ⑤	・農村生活体験等による受入効果を地元商店等に発揮するよう、引き続き意識喚起に取り組みます。 ・《今後の課題》 ・行政主導による住宅リフォーム助成等による地域内経済循環には別に、住民や地元企業、まちが協働した地域内経済循環についても研究を進めます。
H28											
H29	3,900人			340,000千円							
H30	3,950人			345,000千円							
H31	4,000人			350,000千円							
目標値 (H31)	4,000人	3,884人	97.1%	350,000千円	348,000千円	98.7%					

②KPIの見直し内容

指標名	指標名	指標名	見直し理由	見直し理由	指標名
見直し した理由	見直し無し	見直し無し			
年度	前	後	年度	前	後
H28			H28		
H29			H29		
H30			H30		
H31			H31		

まほの「だから」である「地域資源」を活かして取り組む事業による地内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。

基本目標

まちのだからで雇用を創る

- 「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持つた人がつまがる機会をつくり、創業と雇用に繋びつなづきます。
- 農業などを通じて「地域資源」を発展し、新たなビジネスに発展するよう努力関係にネットワークの拡大をめざします。
- 地元企業、商工会と連携を図り情報交換を促進することで、町内雇用の拡大をめざします。

施策内容

企業誘致と企業・異業種間の交流促進

指標名	新規進出企業数 (H26) 担当部署	企業・異業種間交流 実績 回数	新規評価指標 (KPI) 基準	内部検証		外部検証 ◎承認 結果	コメント
				取り組み状況	[今後の取り組み]		
施策6	3	3	企業誘致と企業・異業種間の交流促進	<p>①新規進出企業数 基準 1 件</p> <p>②企業・異業種間交流 実績 回数</p>	<p>・町の財政、雇用の基盤となる工業団地の造成、会後の企業説明会等で企業説明会を開催へ働きかけた。また、地元企業との連携推進、日野町に異業種間交流の促進のためには、地場産業の分析が重要であるから、分析調査事業の実施を検討します。</p> <p>③</p>	<p>・当面は、鶴居平地先で進められている工場建設への動きを注視し、また、地元企業と協議して地場産業の促進のためには、地場産業の分析が重要であるから、分析調査事業の実施を検討します。</p>	<p>・異業種間交流の推進に努めてきた内経済循環の分析は、綱務省調査を進めなくてはいけない。</p> <p>・地元民が主効果として地域資源づくりに努めています。</p>

32-H27	1 件(採択)	1 社(採択) 100.0%	1 件(採択) 0.0%				

基本目標	まちの「だから」である「地域資源」を活用し、住民が主体となって取り組む企業による地域内経済循環の活性化をめざします。
基本的方針	○「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持つ人がつながる機会をつくり、創業・育成に取り組みます。 ○農業などに特化した「地域資源」を発見し、付加価値を生み出すことで、町内雇用の拡大をめざします。 ○地元企業、商工会など連携を図り情報発信を実施します。
施策内容	・商工会による経営指導・相談の促進と経営革新や広報活動、魅力ある商店・商店街づくりと第三者へのPRにより、商店の活性化をめざします。 ・日野町に伝わる丁稚による経営指導や広報活動、魅力ある商店・商店街づくりと第三者へのPRにより、商店の活性化をめざします。

施策No.	施策名	概要	魅力ある商店づくりの促進			内部検証 ⑥検証結果	外部検証 ⑥検証結果
			【取り組み状況】	【今後の取り組み】	コメント		
4	商工会員数	544 人	・商工会員数 （H26現在） 自体 商工課 担当部署 自体 実績 基準 基準	・商工会と連携し、これまでの経営指導等の対象として、地元商工業者の第三者組織や団体として事業をめぐらすため、日野町の特産品販売力向上のため、地元商工会と連携して、三万よしー江日野田倉本店での土産物販売も模索しました。 ②	・地元商店の経営指導・相談の足進等経営強化、第三者組織にては、商工会と連携する中で連携して取り組みシットを制作。・地元特産品の土産物販賣会等への説明会を行い、情報発信し、商業・商店活動を行つ中で、情報発信します。 ③	・原産地のブランド化が進みつつある中で、引き続き情報発信に努めています。 ・日野町の地域資源に付加価値をどうのうに見出し、効率的・効果的に活用していくのには、大きな課題です。商業・商店街を、地域力を、新たな魅力をもたらしていく中で、新たにして商店街をめぐらす商店として、商店街であり、持続的であります。	B
4	①重要実績評価指標（KPI）	544 人	・商工会員数 （H26現在） 自体 商工課 担当部署 自体 実績 基準 基準	・実施していること ・商工会と連携し、地元商工会員がインストラクターによる商品券事業を始めた後継者育成の活性化の第三者組織を団結して、商工会の商工会員が活動等に支援を行いました。 ①	《実施していること》 ・実施していること ・商工会員が活動等に支援を行いました。 ①	・農業等の地域資源のブランド化について、商店街への貢献度等もあり、それは、対策が実施できていません。 ④	

①重要業績評価指標(KPI)

指標名	内部検証			外部検証		
	商工会員数	商工課担当者数	商工課開課回数	取扱い組み状況	【今後の取り組み】	コメント
実績値 (H28) 544人	目標 546人	実績 539人	達成率 98.7%	②実績 ・商工会による経営指導・相談等のほか、国や県等の制度(小口融資金、セミナー、商工会と連携して取り組みます。また、創業塾にまで対象者へ、地元商工業のほか、先進事例等を紹介し、商工会員による講演等を行います。・日野町の特産品である丁稚ようかんや日野栗焼等を宣伝するため、各店舗でパンチラベル等への貼り付け、商工会員等を対象とした講習会活動を行なっています。その他、地域おこし協力隊の活用により、柔軟な情報発信にも努めています。	④実績 ・地域活性化(小口融資金、セミナー、商工会と連携して取り組みます。また、創業塾にまで対象者へ、地元商工業のほか、先進事例等を紹介し、商工会員による講演等を行います。・日野町の特産品である丁稚ようかんや日野栗焼等を宣伝するため、各店舗でパンチラベル等への貼り付け、商工会員等を対象とした講習会活動を行なっています。その他、地域おこし協力隊の活用により、柔軟な情報発信にも努めています。 ⑤実績 ・地域活性化(小口融資金、セミナー、商工会と連携して取り組みます。また、創業塾にまで対象者へ、地元商工業のほか、先進事例等を紹介し、商工会員による講演等を行います。・日野町の特産品である丁稚ようかんや日野栗焼等を宣伝するため、各店舗でパンチラベル等への貼り付け、商工会員等を対象とした講習会活動を行なっています。その他、地域おこし協力隊の活用により、柔軟な情報発信にも努めています。	A ・地域資源を活かす、生産者本位の足進みによる組合運営の中での活動の進め方、高齢者の研究を進めます。・地域資源は、地域ねこしまの魅力的な街でもあります。・協力隊などは、慣習的に日野町に通じてみるが、商品販売など、その關係の企画説明をしてください。
目標値 (H29) 547人	目標 549人	実績 550人	達成率 100%	④目標値 ・商工会員数の増加を図るために、地域活性化(小口融資金、セミナー、商工会と連携して取り組みます。また、創業塾にまで対象者へ、地元商工業のほか、先進事例等を紹介し、商工会員による講演等を行います。・日野町の特産品である丁稚ようかんや日野栗焼等を宣伝するため、各店舗でパンチラベル等への貼り付け、商工会員等を対象とした講習会活動を行なっています。その他、地域おこし協力隊の活用により、柔軟な情報発信にも努めています。	④目標値 ・地域活性化(小口融資金、セミナー、商工会と連携して取り組みます。また、創業塾にまで対象者へ、地元商工業のほか、先進事例等を紹介し、商工会員による講演等を行います。・日野町の特産品である丁稚ようかんや日野栗焼等を宣伝するため、各店舗でパンチラベル等への貼り付け、商工会員等を対象とした講習会活動を行なっています。その他、地域おこし協力隊の活用により、柔軟な情報発信にも努めています。	⑥検証結果 ・地域資源を活かす、生産者本位の足進みによる組合運営の中での活動の進め方、高齢者の研究を進めます。・地域資源は、地域ねこしまの魅力的な街でもあります。・協力隊などは、慣習的に日野町に通じてみるが、商品販売など、その關係の企画説明をしてください。
目標値 (H30) 550人	目標 539人	実績 539人	達成率 98.0%			
目標値 (H31) 550人	目標 539人	実績 539人	達成率 98.0%			

指標名	指標名	指標名
商工会員数 見直し無し	見直し無し	見直し無し
年度	前	後
H28	H28	H28
H29	H29	H29
H30	H30	H30
H31	H31	H31

(KPIの見直し内容)

まちの「だから」である「地域資源」を活かして住民が主体となって取り組む組織による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。

まちのだからで雇用を創る

- 「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持つ人がつながる機会をつくり、創業・育成に結びつけます。
- 「地域資源」を通じて、「地域資源」を単純化、さらなる効率化を図ります。
- 地元企業・商工会と連携を図り情報を発信することで、農業の活性化をめざします。

施策名	5	施策	農業経営体の育成
-----	---	----	----------

施策内容・担い手の育成・確保、後継者・新規農業者の育成に取り組み、認定農業者や農事組合法人への育成などで、農業の活性化をめざします。

指標名	人・農地プラン作成件数 (H26) 8件(実績)	担当部署 農林水産部 農林水産課	指標 年度当初の農業組合長会議において人・農地プランの作成を促しました。また、認定農業者、農業組合の法人化や組合員に向けた、地域農業の活性化の取り組みを行いました。	内部検証	
				取り組み状況	【今後の取り組み】 ①引き続き、農業者や農業者からの相談に面接へ、農地プランの作成を促し、併せて地質調査の扭い手の育成・確保に向け取り組みます。 ②引き続き、JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。
①農業従事者登録指標(KPI)		施策	・年度当初の農業組合長会議において人・農地プランの作成を促しました。また、認定農業者、農業組合の法人化や組合員に向けた、地域農業の活性化の取り組みを行いました。 ②JA・町・県による会議を共催し、新規就農者等の扭い手の育成・確保に取り組みました。	・引き続き、農業者や農業者からの相談に面接へ、農地プランの作成を促し、併せて地質調査の扭い手の育成・確保に向け取り組みます。 ③JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。	A ⑥農業者自らが環境ごとに合わせて地質調査などのプランを作成する。 ⑦JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。

指標名	人・農地プラン作成件数 (H26) 8件(実績)	担当部署 農林水産部 農林水産課	指標 農業組合法人等を対象に農業セミナーを開催し、農業組合員等による情報交換会を開催しました。また、付加価値が拡大するよう呼びかけを行います。	外部検証	
				取り組み状況	【今後の取り組み】 ①JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。 ②JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。
②農業従事者登録指標(KPI)		施策	・JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。 ④JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。	・JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。 ⑤JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。	A ⑥農業者自らが環境ごとに合わせて地質調査などのプランを作成する。 ⑦JA・町・県による会議において、新規就農者や認定農業者、農事組合法人等の扭い手の育成・確保に取り組みます。

①重要業績評価指標(KPI)

内部検証						外部検証					
①重要業績評価指標(KPI)			②実施状況			③今後の取り組み			④コメント		
指標名	人・郷土プラン作成件数	基準値(H25) 8件(実計)	指標名	実績	基準値	指標名	実績	基準値	指標名	実績	基準値
H28	15件(実計)	16件(実計)	106.7%	実施率	目標	実施率	目標	実施率	目標	実施率	目標
(3) 指標選択	自選	実現度	達成度	自選	達成度	自選	達成度	自選	達成度	自選	達成度
施策	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度
②	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度
③	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度
④	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度
⑤	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度	達成度	実現度
(3) H29	20件(実計)										
H30	25件(実計)										
H31	30件(実計)										
目標値(H31)	30件(実計)	16件(実計)	53.3%								

(KPIの見直し内容)

指標名	人・郷土プラン作成件数	指標名	指標名
年度	前	後	見直し理由
H28			H28見直し理由
H29			H29見直し理由
H30			H30見直し理由
H31			H31見直し理由

基本目標	まろのだからで雇用を創る	まちの「だから」である「地域資源」を活用して、「地域資源」を通じて「地域資源」を通じて「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持つた人がつながる機会をつくり、創業など雇用に組びります。また、町内の企業の交流と連携を進める、更なる地域経済の活性化をめざします。
基本的方針	○「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持つた人がつながる機会をつくり、創業など雇用に組びります。 ○農業などを通じて「地域資源」を活用することで、町内雇用の拡大を図ります。 ○地元企業、商工会など連携を図り情報交換などを実施します。	まちの「だから」である「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持つた人がつながる機会をつくり、創業など雇用に組びります。
施策No.	6	施設名 地元野菜生産者の担い手育成

施策内容 消費者ニーズに合った製造物や特産品・多品目化を図り、「地産地消」の拡大と担い手の育成につなげるために、生産者の意識啓発を行います。

指標名	重要生産者 (H26) 担当部署	①重要な業績評価指標 (KPI)			内部検証 【その後の取り組み状況】	外部検証 【その後の取り組み】	⑥検証 結果 コメント
		目標 基準	実績 基準	達成率			
野菜生産者	70人	70人	70人	100%	②	・二つの高い加工キヤベツの生産拡大発展を図りました。また、連年で野菜が生産できるように支援を行いました。	・農産物の多品目化を意識した施策を進めました。 ・住民が主体となる創業につながるように、協同組合等に取り組んでください。
施設名	施設名	地元野菜生産者の担い手育成			③	④	A

指標名	①重要な評価指標 (KPI)					内部検証	外部検証
	野菜生産者 数	野菜生産者 担当部署 数	野菜生産者 自体 数	野菜生産者 実績 数	野菜生産者 達成率		
H28	74 人	73 人	93.6%	73 人	73 人	野菜 農業 研究会	A
H29	76 人	73 人	93.4%	73 人	73 人	野菜 農業 研究会	
H30	78 人	73 人	93.8%	73 人	73 人	野菜 農業 研究会	
H31	80 人	73 人	94.2%	73 人	73 人	野菜 農業 研究会	
目標値 (H31)	80 人	73 人	91.3%	73 人	73 人	野菜 農業 研究会	

(KPIの見直し内容)

指標名	指標名	指標名	指標名
野菜生産者 見直し無し	見直 した 理由	見直 した 理由	見直 した 理由
年度	前	後	前
H28			H28
H29			H29
H30			H30
H31			H31

日野菜くらし安心ひとづくり連合会議	
基本目標	1 まちの「だから」である「地域資源」を活かしながら、生産者主体となって取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。

基本目標	まちのだからで雇用を創る
施策内容	〇「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持つた人がつまごる機会をつくり、創業と雇用に結びつけます。 〇農業など、「地域資源」を育むことでも流通する仕組みづくりと販路拡大をめざします。 〇地元企業、商工会と連携を発信することで、町内雇用の拡大をめざします。

施策No.	施策名	指標名	指標値 (H26) 担当部署	日野菜のブランド化の促進		内部検証 ◎検証 結果	外部検証 ◎検証 結果
				基準	実績	差異	
①	重要業績評価指標(KPI)	日野菜の販売取引件数	45 t 農林水産省 自県	38 件	38 件	基準	A
②	日野菜出荷量	日野菜の販売取引件数	45 t 農林水産省 自県	42 件	41 件	基準	B

【取り組み状況】

① 厚生省日野菜の種子の育生・供給を図り、伝統野菜である原産日野菜のブランド化と年間生産量の増加に向け、農業振興課との連携を図ります。

② 施策内容

- ・厚生省日野菜を町内で加工・販売することともに、情報発信することで、地元企業による販路を広めます。
- ・厚生省日野菜の有効活用を研究することで、地元企業と連携を発信することによって、町内雇用の拡大をめざします。

【今後の取り組み】

① 厚生省日野菜の育成用として、野菜栽培者組織など日野菜関係者に取り組みを広げます。JA加工施設が早期開業に向け、JA加工施設が必要な支援を行います。

② 厚生省日野菜の加工施設の建設に向け、JAへの補助金により建設計画を進めることができます。

③ 厚生省日野菜の加工施設の建設に向け、JAへの補助金により建設計画を進めることができます。

④ 厚生省日野菜の加工施設の建設に向け、JAへの補助金により建設計画を進めることができます。

⑤ 厚生省日野菜の加工施設の建設に向け、JAへの補助金により建設計画を進めることができます。

【コメント】

- ・厚生省日野菜の育成用として、野菜栽培者組織など日野菜関係者に取り組みを広げます。
- ・厚生省日野菜の加工施設が早期開業に向け、JA加工施設が必要な支援を行います。
- ・厚生省日野菜の加工施設の建設に向け、JAへの補助金により建設計画を進めることができます。
- ・厚生省日野菜の加工施設の建設に向け、JAへの補助金により建設計画を進めることができます。
- ・厚生省日野菜の加工施設の建設に向け、JAへの補助金により建設計画を進めることができます。

①重要業績評価指標(KPI)									
指標名		日野菜の販売取引先件数							
基準値 (H26) 担当部署	目標値 (H26) 担当部署	自採		卸販賣		直送		委託	
H28	47 t	37 t	78.7%	39 件	53 件	135%			
H29	55 t			41 件					
H30	65 t			43 件					
H31	70 t			45 件					
目標値 (H31)	70 t	37 t	52.9%	45 件	53 件	117.8%			

卷之三

基本目標	まちの「だから」である「地域資源」を活かし、生産者が主導となって取り組むべき地域の活性化をめざします。
基本目標	まちのだからで雇用を創る
○地域資源など	「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持つ人へがつながる機会をつくり、創造的雇用に繋げります。

基本目標	まちの「だから」である「地域資源」を活用し、「地域資源」を発見し、付加価値を生み出すことで雇用を創ります。
------	-------------------------------------------------------

施策内容	・新たな特産品として歓肉の利活用により販路の拡大を図ることもに、コミュニティビジネスへの取り組みを支援します。
------	---------------------------------------------------------

指標名	レストラン・ホテルの取引数 (社内)	① 飲食料費評価指標 (KPI)			内部検証 外部検証	⑥検証 結果 コメント
		基準値 120 担当部署 歓肉課	実績 15 社	達成率 125%		
施策内容	・新たな特産品として歓肉の利活用により販路の拡大を図ることもに、コミュニティビジネスへの取り組みを支援します。	②	③	④	⑤	⑥
施策内容	・新たな特産品として歓肉の利活用により販路の拡大を図ることもに、コミュニティビジネスへの取り組みを支援します。	②	③	④	⑤	⑥

① 要業績評価指標 (KPI)										
指標名		外部検証								
基準値 (+26)		内部検証								
担当部署		【取り組み状況】					【今後の取り組み】			
運営課 自担		② 施設					③ 業者			
H28	18 社	18 社	100%	① 施設の活用の一助となるよう、地域活性化に貢献する「畜産農業の普及」等を対象に食肉利用の知識・意識向上を図り、畜産農業の普及・畜産業が業界を受託し、講習会などを代行しています。					A	
H29	19 社	19 社	100%	② 施設の活用の一助となるよう、地域活性化に貢献する「畜産農業の普及」等を対象に食肉利用の知識・意識向上を図り、畜産農業の普及・畜産業が業界を受託し、講習会などを代行しています。						
JH30	20 社	20 社	100%	③ 業者						
H31	20 社	18 社	90%	④ 業者						

(KPI) の実績(し内容)					
指標名	レストラン・ホテルの取引数		指標名	指標名	
見直し理由	見直し無し		見直し理由	見直しに理由	
年後	前	後	年度	前	後
H28			H28		H28
H29			H29		H29
H30			H30		H30
H31			H31		H31

御所の御内閣

上一回検査施設

指標名	①重要実情評価指標（KPI）			内部検証			外部検証 ◎検証 結果
	若者等の就職相談件数 基準値 (H26) 担当部署 高工課・光葉 部	〇 件	〇 件	【取り組み状況】	【今後の取り組み】	コメント	
H28	〇 件	〇 件	#DIV/0!	・若者等の就職相談窓口の整備に向け、若者等の就職相談窓口の設置に向けて研究を進めるなどもして、地元企業への協力などでの情勢についても、地元でやで取り組んでおりました。 （2）内准されれた就職説明会等の情報を収集を行いました。 （3）平成29年度以降、取扱い組み状況や就職説明会等を県市、甲賀市、長浜市）で開催され、平成29年度以降、取扱い組み状況について研究をしていました。 （4）日野町でも構成員である東近江市労働局と、日野町への就職説明会で情報発信しました。	・商工会等と連携し、若者等の就職相談窓口の設置に向けて研究を進めることなどもして、地元企業への協力などでの情勢についても、地元でやで取り組んでおりました。 （2）若者等の就職説明会等を地元企業が運営する「就職窓口」を早急に設立して、地元企業が運営する「就職窓口」を早急に設立してください。 （3）若者等の就職説明会等を地元企業が運営する「就職窓口」を早急に設立してください。	C	・地元企業の応援は、地元企業できません。地元企業の強み、おどもの情勢についても、地元でやで取り組んでおりました。 （2）若者等の就職説明会等を地元企業が運営する「就職窓口」を早急に設立してください。 （3）若者等の就職説明会等を地元企業が運営する「就職窓口」を早急に設立してください。
H29	8 件			・実施していること （1）企業・事業所台帳調査および企業訪問等において、雇用の創出について、企業が把握する人材やニーズ等についてヒアリングを行いました。 （2）実施していませんこと （3）若者等が出会う機会づくりが図れてねらす、地元企業が雇用の創出に取り組めています。 （4）実施が困難なこと （5）日野町では規模が小さいため、合同就職説明会・面接会の効果は期待できません。	・実施していること （1）企業・事業所台帳調査および企業訪問等において、雇用の創出について、企業が把握する人材やニーズ等についてヒアリングを行いました。 （2）実施していませんこと （3）若者等が出会う機会づくりが図れてねらす、地元企業が雇用の創出に取り組めています。 （4）実施が困難なこと （5）日野町では規模が小さいため、合同就職説明会・面接会の効果は期待できません。		
H30	16 件						
H31	24 件	〇 件	0.0%				
目標値 (H31)	24 件	〇 件	0.0%				

（KPI）見直し内容

指標名	若者等の就職相談件数 見直し無し	指標名	指標名
見直し た理由	見直し無し	見直 した 理由	見直 した 理由
年度	前	後	前
H28			H28
H29			H29
H30			H30
H31			H31

【評価が低いままのことに対する懇話会からの再コメント】

・評価がCからCのままです。
・H29年度からは、KPIの目標設定としての役割を作ります。
・町のキャリアセンターとしてどうつながりを作っていくのか、考え方を示してください。
【担当課からのコメント】
・若者の定住、リターン施設進進のため、移住者がどの様な企業、職種を求めているのかを調査し、企業、職種の求人との調査を図る。キャリアセンター整備に向けて、県とも連携しながら窓口整備を進めます。また、若者に对しては、おつみ若者未来サポートセンター等に連携し、ダイレクトメール等により情報の発信に取り組みます。

日野町くらじかひことづくり総合協議会

1

まちの「だから」である「地域資源」を活かし、生民が主体となって取り組む事業による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めて運用の創出をめざします。

基本目標
まちのだからで運用を創る

まちの「だから」である「地域資源」を活かし、生民が主体となって取り組む事業による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めて運用の創出をめざします。また、町内の企業の交流など連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。

○「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持った人からなる機会をつくり、創造と育成と付加価値を発見し、付加価値を生み出すことで、町内外連携を図ります。
○地元企業、商工会など連携を図ります。

施設内容
・高齢者の能力を活かした生きがいの元気と社会参加を促進します。

①要実績評価指標表 (KPI)

指標名	シルバー人材センター会員数					内部検証	外部検証
	基準値	目標	実績	達成率	目標		
基準値 (H22) 自立支援 高齢者	331 人						
目標 自立支援 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							
達成率 高齢者							
目標 高齢者							
実績 高齢者							

指標名	シルバー人材センター会員数 基準値 (H26) 担当部署 商工省 直轄	内部検証			外部検証 コメント
		①重要業績評価指標 (KPI)	②取り組み状況	③今後の取り組み	
H28	350 人	101.4%	基準 実績 差額 変動率 目標 達成率	自調 適応評 定期評	<p>高齢者の生きがいづくり、社会参加を足す シルバー人材センターの活動を住民に広 く周知するなど社会参画の能などを活か した生きがいの充実やコアティニアーティ 研修会のさらなるため、引き続きシルバー人材 センターの運営を支援していきます。</p> <p>③</p>
			施設		<p>《実施していること》、経験を活かし、雇 用の拡大につながるよう、シルバー人材セ ンターの運営に対する支援を行っています。 《実施で見ていないこと》、経験等を委嘱等に 繰り承てることや、地域交流の機会を創出し 続けることで、効率化です。 《実現にあたっての課題》、高齢者の方々の 高齢者の方々の技術や知識、経験等を活かすこ とにより、高齢者が自らの能力を活かすそ ににより、しっかりと地元企業との連携 により働く機会の創出が必要です。</p> <p>④</p>
H29	375 人				
H30	390 人				
H31	400 人				
目標値 (H31)	400 人	355 人	88.8%		

(KPIの見直し内容)

指標名	シルバー人材センター会員数 見直し無し	指標名 見直し た理由	指標名 見直した理由
年度	前	後	年度
H28			H28
H29			H29
H30			H30
H31			H31